

第32回 四国造形教育研究大会徳島大会

私は未来のつくりて
～心ときめき つくるよろこび つながる造形教育～

幼稚園・小学校・中学校・高等学校の造形教育における

系統性を踏まえた学習内容の一覧



徳島県造形教育協会

はじめに

本資料は、本大会の研究組織「資料部」が作成した研究成果物です。

2007年第24回、2015年第28回の四国造形教育研究大会徳島大会で作成した資料「系統性を踏まえた学習一覧」を基に、現行の学習指導要領に沿って改訂しました。

次のサイトよりダウンロードしていただき、幼・小・中・高の造形教育における学習内容のつながりを踏まえた上で、授業実践にご活用いただけると幸いです。

ダウンロードサイト

徳島県小学校教育研究会図画工作部会Webサイト

<https://shokyoken-zugakosaku.tokushima-ec.ed.jp/>

徳島県中学校教育研究会美術部会Webサイト

<https://chukyoken-bijutsu.tokushima-ec.ed.jp/>



目次

幼稚園	P 4	~	P12
小学校	P13	~	P22
中学校	P23	~	P39
高等学校	P40	~	P45



幼稚園造形的表現の系統表

〔幼稚園部会テーマ〕

「～であい・ふれあい・わかちあい～」

○幼稚園の表現遊びから小学校の学びへ

幼児は遊びを通して身近な環境と関わることで、不思議さや面白さ、美しさや優しさなどを感じながら心を動かされる体験を重ねている。その中で、感じること、考えること、イメージを広げること等を繰り返し、それを自分なりに表現することを通して、感性と表現する力を養い、創造性を豊かにしていく。

また、日々の生活の中でいろいろな素材や用具と出会い、その特徴や表現の仕方などに気付くとともに、自分で、あるいは友達と一緒に試行錯誤を繰り返しながら様々な方法で表現する過程を楽しむことで、意欲をもって造形活動に取り組むことができるようになっていく。そのため幼児が豊かな感性を養い、のびのびと自分の思いを表現することの楽しさを味わえるよう、環境の構成を工夫・改善し、教師と共に感動をわかちあいながら援助していくことが大切であると考えます。

このような表現遊びをはじめとする幼児期の経験は、小学校以降の生活や学習において重要な、自ら学ぶ意欲や力を養い、一人一人の資質・能力を育成する基盤となってくる。そのため、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続が図れるよう、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」という共通の視点を通して幼児を見守り、育ちと学びを共有したい。そして、幼児期だからこそできる豊かな遊びや体験を通して「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」など、生きる力を育むための資質・能力を育てていきたい。

幼稚園

4歳児 Ⅰ期（4月・5月・6月）	
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園の生活に慣れ、好きな遊びを楽しむ。 ○ 教師や友達と触れ合いながら、親しみをもって遊ぶ。 ○ 身近な自然や動植物に親しみ、見たり触れたりして遊ぶ。
ら表 資現 質と ・育 能み 力わ たる いね	<p>感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。</p> <p>（1）いろいろなもののおもしろさなどに対する豊かな感性をもつ。【知識及び技能の基礎】</p> <p>（2）感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。【思考力、判断力、表現力等の基礎】</p> <p>（3）生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。【学びに向かう力、人間性等】</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感性を働かせて身近な環境にあるものに触れたり感じたりすることを楽しむ。 ○ 身近にあるいろいろな素材に関わり、変化させたり描いたりつくったりして遊ぶ。
幼 児 の 姿 （ 活 動 例 ）	<p>『あるある探検隊 春 であい』</p>  <p>○材料 森や自然の草花、生き物 ○用具 特になし</p> <p>・縦割り班で「あるある探検隊」を結成し、初めての探検。ここから様々なものとのであい、幼児達のわくわくの世界が広がっていく。年長児がやさしく手を繋ぎ安心して探検が始まる。幼児は「先生、この花いい匂いがするよ。匂ってみて。」「タンポポが見つけたよ。」「クモがおるよ。」「どこにおるん。」「と幼児が集まりクモの動きをじっと見つめる目。「カラスノエンドウみつけたよ。」「どれがそうなん？」「ここにあるよ。」と教えてあげる幼児。教師や友達と温かな会話が生まれる。自然と出会うことで磨かれる、幼児の豊かな感性のつぶやきに教師も心豊かになる。</p> <p>身近な自然に触れ直接関わることによって、自然への不思議さや好奇心・探究心が育まれるように自然との関わりを年間を通して大切にしている。</p>
	<p>『色いろいろ』</p>  <p>○材料 絵の具（ポスターカラー）、マーカー、障子紙など ○用具 ローラー、スポンジ、筆など</p> <p>・絵の具を使っていろいろな色や模様を感じてほしいと、染め紙や写し絵、にじみ絵遊びをおこなった。染め紙を広げじっと見つめて「ここ、おすもうさんがすもうとつとつに見える。」「にっこり顔になつとる。」「花の模様。」「こつちとこつち一緒の模様しとる。」「模造紙に腕をおもいっきり動かしてローラーで描き、色と色が混じると「見て、きれいな色になった。」「この色好き。」「また、にじみ絵をしていると、霧吹きで水をかけた時「むらさきにかわった。」「と驚き、幼児達が感じる色いろいろの出会いから、色の美しさや不思議さを楽しんだ。</p>
	<p>『わたしもなりたい』</p>  <p>○材料 紙コップ、モール、スズランテープ ○用具 ハサミ、セロハンテープなど</p> <p>・年長児数人がアニメのキャラクターになりきり、自分でつくったヘッドホンをつけて歌ったり踊ったりしている姿を見た年少児が「わたしも年長さんみたいになりたい。」と教師に伝えに来る。教師が年長児に「教えて」と頼むと「いいよ。」と快く引き受けてくれ、年少児の部屋に来てくれた。「紙コップ二つあるよ。」「モールはどの色が好き？」「紐はこれくらい長さだよ。」「ハサミ気を付けてよ。」などと、心配そうに見守り「切ってあげる。つくってあげる。」とやさしく教えてくれる年長児に年少児は、真剣に見たり聞いたりしている。出来上がると「こうやってつけるよ。」とヘッドホンをつけ「一緒にしよう。」と手を繋ぎ笑顔で楽しそうに一緒に歌を歌った。この遊びがきっかけとなり、年長児への憧れの気持ちが芽生えたことが、私も年長さんみたいになりたい、やってみたくて表現する意欲につながっていったように思う。年長児と一緒に遊ぶことで、いろいろな素材の使い方、工夫の仕方に気付きながら、表現の幅を広げ、表現する意欲や創造力を育んでほしい。</p>
	<p>『あるある探検隊～雨～』</p>  <p>○材料 田んぼ、草花、生き物など ○用具 レインコート、長靴</p> <p>・雨の匂い、音、冷たさなどを全身に感じながら幼児達は、五感を働かせて活動する。葉っぱの雫を見つけて「宝石みつけたよ。」、雨に濡れて「冷たいけど気持ちいい。」「口を開け舌を出して「雨、おいしい。」「や「雨の匂いがするな。」「田んぼを見つめて「オタマジャクシ見つけた。」「あのピンクのたまごみたいなのや「何？」などわくわくを次々と発見する。水たまりを歩いたり、ピチピチとはねたりと夢中になり、雨の日ならではの遊びを楽しむ。</p> <p>自然との出会いにより幼児の心はどんどんと弾まされる。このような感動体験が好奇心や探究心を高めるよう教師は幼児の感じたことや気付いたことに共感し、身近な自然現象にわくわく感を高め、自然への愛情をもってほしい。</p>

4 歳児 Ⅱ期（7月・8月・9月）	
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達や年長児と一緒に、遊んだり活動したりする楽しさを味わう。 ○ 友達と関わって遊ぶことを楽しみ、自分の思いを相手に表現していく。 ○ 動植物の成長や、身近な自然事象に興味・関心をもつ。
ら表 資現 い現 質と ・育 能関 みわ 力た いね	<p>感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。</p> <p>(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。【知識及び技能の基礎】</p> <p>(2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。【思考力、判断力、表現力等の基礎】</p> <p>(3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。【学びに向かう力、人間性等】</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 好きな遊びや興味をもったことを通して、友達や年長児と関わり合いながら遊びを楽しむ。 ○ 砂・土・水などの感触を味わったり、不思議さを発見したりして遊ぶことを楽しむ。
幼 児 の 姿 （ 活 動 例 ）	<p style="text-align: center;">『どろんげん』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○材料 土・水・泥 ○用具 バケツ <p>・泥コーナーに、バケツで水を何度も運び入れると、田んぼが出来上がる。足を踏み入れ「うわあ。キャー。」と歓声をあげ笑顔になり土の感触を全身で感じながら遊ぶ。歩いていると「足がぬげん。助けて。」「先生も入ってみて。気持ちいいよ。」と教師も一緒に入り「ほんま、トロトロで気持ちいいわ。」と一緒に歩いてみる。足や手に泥をつけ「もう、わたしたちどろんげんになったわ。」「ここはどろんげんでいっぱいじゃあ。」と友達との会話も弾む。泥でダイナミックに遊ぶ幼児たちは、開放感と満足感で笑顔いっぱいになる。シャワーを浴び、スッキリすると「今日はめちゃくちゃおもしろかったな。明日もしよう。」と明日への期待に繋がった。家庭では、経験できない遊びを取り入れ、水や砂・土などの感触を身体全体で感じて遊び、感触や心地よさを楽しみながら解放感いっぱい遊んだ。</p>
	<p style="text-align: center;">『ジャングル恐竜』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○材料 新聞紙 ○用具 布テープ、ビニールテープ <p>・恐竜が好きなY児が「恐竜一緒につくろう。」と教師を誘う。何を使ってつくろうかと考えている時、「新聞紙でつくってみる。」と教師が提案した。「それいいなあ。」と同調し教師と一緒に新聞紙を丸めたり、細長くしたり、布テープで止めたり試行錯誤しながら楽しんでつくっていった。他の幼児も「やってみたい。」とつくり始める。「どうやってするん。わからん。できん。」と諦めそうになると「僕、布テープ切れるようになったけん。切ってあげる。」「新聞紙丸めたらいいよ。」などと言いつつ、試行錯誤しながらつくった。その後、園庭のプラタナスの木の下で「ジャングルに恐竜が出た。ガオー。」と木に恐竜をわはせながら遊んだ。また、つくった恐竜を持ち帰った幼児の母から「家でも持って帰った恐竜で兄と遊んでいるんですよ。」と聞く。自分でつくった物を大切に家庭でも遊ぶことができ教師もうれしくなった。</p>
	<p style="text-align: center;">『人型アート』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○材料 絵の具（ポスターカラー） ○用具 スポンジ、丸い芯、段ボール、筆など <p>・運動会を前にして、等身大の自分をどう表現していかうかと、職員間で話し合う。今までの固定概念にとらわれず、自分の思いを自由に表現する力が育ってほしいと願い、スポンジや段ボール、ラップの芯など、いつも身近にある様々な材料が幼児たちにとっても新鮮な材料と捉え、自分で関わり、できる喜びやイメージを広げる喜びを感じられるような素材や材料・用具との出会いを大切にほしいと願い、環境構成をおこなった。自分の好きなポーズに寝ころび教師が型どっている。「くすぐりたい。」と笑いながら、一人一人違うポーズを型どりをした。手を伸ばし思いっきり描く幼児、ラップの芯がスタンプされると、目を輝かせて「うわあ。すごい。」と不思議そうにしたり、形や色をつなげていたり、スポンジについた色と色が混ざると「この色いい感じ。」「ここに山があるよ。川も流れとる。」など感性のおもむくまま、一人一人違う表現を楽しんだ。一人一人の違いのよさを共感し、みんなでわかちあうことで創造力や意欲をもって豊かな感性につながった。</p>
	<p style="text-align: center;">『おつきみうさぎ』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○材料 色画用紙、折り紙、絵の具など ○用具 ハサミ、のり、Wマーカーなど <p>・お月見が近くなり絵本「14ひきのおつきみ」を読んで、うさぎをみんなで作ることになった。縦割り班（あるある探検隊）で製作することで、年少児は年長児に教えてもらいながらつくっていく。教師が「うさぎはどんなところでお月見してるかな。」と問いかけると「ロケットに乗って見よる。」「きりんに乗って見ている。」「木から梯子をつけて月に行けるようにする。」などとイメージを共有することで新たな創造力を膨らませながらつくっていった。完成した作品を鑑賞「僕のウサギは月の上からみんなを見ています。」「おだんご食べて、次にきりんに乗りに行きました。」などと物語をつくって自分なりに表現し、友達や教師に見てもらおうことを喜び、一人一人の思いが繋がり素敵な物語が広がる共同作品となった。</p>

幼稚園

4 歳児 Ⅲ期（10月・11月・12月）	
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○ クラスや園全体での活動に参加し、一緒に遊んだり力を合わせて取り組んだりする楽しさを味わう。 ○ 自分なりに考えたり、試したりして遊び、満足感を味わう。 ○ 身近な秋の自然に親しみ、見たり使ったりして遊ぶことを楽しむ。
ら表 資い現 質とに 能育関 力みわ かたる いね	<p>感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。</p> <p>(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。【知識及び技能の基礎】</p> <p>(2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。【思考力、判断力、表現力等の基礎】</p> <p>(3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。【学びに向かう力、人間性等】</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ したこと、見たこと、感じたこと、考えたことを教師に伝える。 ○ いろいろな素材に触れ、自分のイメージを表現しようとする。
幼 児 の 姿 （ 活 動 例 ）	<p>『あるある探検隊秋』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○材料 森や自然の木々の実 ○用具 特になし <p>・あるある探検隊が探検に行く時には、幼児たちがワクワクドキドキした感性を大切にしている。探検に行くとき好奇心いっぱい「この葉っぱ笑っているみたい。」「ピカピカドングリ見つけたよ。」「魔女のほうきみたい。」などと言って拾った木に乗って魔女になりきり遊ぶ幼児。大きな木を見つけ、背伸びをして自分も同じポーズをする幼児。森の中を歩いて踏み木や落ち葉の音、鳥の鳴き声など自然の中で、五感を働かせながら遊ぶ幼児たちは生き生きとしている。秋の自然物を集めたり、触れたりする直接体験をすることで、その色や形のおもしろさに気付き幼児の新たな遊びにつながっていく。</p>
	<p>『ドングリの家』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○材料 ドングリ、小枝、木の実、紙、空き箱など ○用具 ハサミ、ボンドなど <p>・拾ってきたドングリや小枝、落ち葉など秋の自然物を使って年長児のテラスに『ドングリ工場』が開かれる。年長児がドングリに顔を描き、自分や家族をつくり、見立て遊んでいるのを見て、年少児も興味をもち、教えてもらいながら一緒につくっていく。ドングリの家族や家ができると「私の家は、お花屋さん。」「ドングリに赤ちゃんが生まれたよ。」など自分のイメージをもって友達と一緒に楽しんだ。年長児の遊びに入れてもらうことで、真似たり、やってみようとするので、一人一人がそれぞれの見立て遊びを楽しんだ。異年齢で関わり遊ぶことでイメージの世界が広がっていく。</p>
	<p>『リラックスルーム』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○材料 段ボール、カラーポリ袋、墨など ○用具 養生テープ <p>・わくわく大冒険で遊ぶ中で、幼児が静かな空間で過ごせるようにと大型パネルブロックを組み墨を敷き環境設定を行う。狭い空間の中で安心して、絵本を読んだり、パズルをしたり、寝転んだりすることができる。S児が「ここは、リラックスルームやな。」とこの場所で自分の時間を楽しんでいる。好きな絵本を置いておき、一人で読んだり教師と読んだりして過ごす。リラックスすると遊びにでかける。幼児が安心して過ごせる空間を大切にしている。</p>
	<p>『親子でリースづくり』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○道具 秋の自然物（ドングリ、マツボックリ、小枝、落ち葉、ドライフラワーなど）色画用紙、モール、リボンなど ○用具 ハサミ、ボンド、グルーガンなど <p>・秋になると半田盆地にある自然物（ドングリやマツボックリ、木の実、柿、草花など）を保護者や地域の方がたくさん持って来てくれる。幼児も教師もワクワクする材料がたくさん集まる。そんな材料も使って、参観日に親子でクリスマスリースづくりを行った。自分でつくったサンタを母に見せ「これ、ぼくがつくったんですよ。」「上手につくるとでえ。かわいいな。どこにつけるで。」と自然物も使いながら、楽しそうに親子でつくっていく。出来上がると保護者から「一緒につくってよかったです。いい思い出ができました。大切に飾ろうと思います。」と家族と楽しく触れ合いながら、自分でつくる楽しさを親子で味わうことができた。</p>

幼稚園

4 歳児 IV期（1月・2月・3月）	
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな活動に進んで取り組む中で、年長クラスになることに期待をもつ。 ○ 友達と思いや考えを伝え合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○ 冬の自然現象の変化に気付き、触れたり遊びに取り入れたりしながら、興味・関心をもつ。
ら表 資現 質に ・関 能わ 力み たわ る いね	<p>感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。</p> <p>(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。【知識及び技能の基礎】</p> <p>(2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。【思考力、判断力、表現力等の基礎】</p> <p>(3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。【学びに向かう力、人間性等】</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分なりの目標をもって、様々な素材を組み合わせて表現することを楽しむ。 ○ 友達と一緒に試したり、工夫したりしながら遊びを進めていくことを楽しむ。
幼 児 の 姿 （ 活 動 例 ）	<p style="text-align: center;">『影絵であそぼう』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○材料 特になし ○用具 特になし ・テラスで、幼児が床を触り「ここ温かいよ。」「気持ちいいな。」と温かい日差しが差し込む場所に集まる。自分の影に気が付き「Yめっちゃ大きくなったな。」「ほんま、私も。」と冬の太陽の日差しの長さに気が付き、幼児にとっては自分の成長も同時に捉える。「チョウチョができるよ。」「きつねになった。」「ウサギ。」手を使って表現したり、体全体でポーズをとったり、影の特徴を感じながら遊んでいる。影が大きくなったり、自分が動くと同じように動く影。自分にずっと付いてくる影などを楽しむ。影と影が重なると消えたり、角度で長さも形も変わってくる影の不思議も感じながら楽しんだ。
	<p style="text-align: center;">『氷のアート』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○材料 タライ、バケツなど ○用具 特になし ・氷点下の朝、園庭に太陽が差しこみ、キラキラのダイヤモンドを散りばめた銀世界が広がる。幼児の目もキラキラと光っている。園庭に出てワクワクする物を探しに出発。テントサイトのビニールの氷、ネットにできた氷、桶にあった厚い氷、大きな氷を三人で運んできて「こんな大きいのが見ました。」氷を覗き込み「ぼやけてみえるよ。」太陽に氷をあて「キラキラがいっぱい。」水たまりの氷を踏み「バリバリって言いよる。」ネットの網目についている氷を見て「うわ。すごい。なんでできたんだろう。」手で触ってみたり、氷の結晶の虫眼鏡でみようとしたり、煙で霜柱を見つけ霜柱を足で踏み「サクサクするよ。」などと夢中になって遊んでいる。自然を全身で感じ、心動かされ、美しさ、不思議さを感じ感動する体験となった。
	<p style="text-align: center;">『とろとろべったんこ』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○材料 土、霜 ○用具 特になし ・園庭にできた霜が解け始めると、幼児数人が足で土を集め、泥のかたまりで大きくなっていく。「先生、見てトロトロができたよ。」「ベタベタして気持ちいいよ。」とできた泥の上に幼児二人が手を繋いで乗り「ほら、フワフワ。」と泥と一緒に幼児も弾んでいる。「おもちゃみたい。とろとろでべったんこ。」と霜が解けた土で泥遊びを楽しんで遊んだ。霜が解けたことで、泥ができることに気が付き、冬の自然現象の不思議さ・楽しさに気付きながら遊んだ。また、冷たくなった手を太陽に向けると「手が、温かくなってきた。」「ほんまじゃ。温かい。」「おひさまありがとう。」などと、日光の暖かさに感謝の気持ちを持ち、冬の自然の不思議さや面白さを感じた。
	<p style="text-align: center;">『わくわくだいぼうけん』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○材料 1年間を通して製作した作品 ○用具 特になし ・1年間幼児がわくわくしたことを見つけ楽しんだ経験をもとにみんなでつくった『わくわくだいぼうけん』の劇 わくわくした経験が一つになって幼小合同発表会を行った。年少児から「みんなで発表会をやろう。」と言うことについて話し合うと「パワーがでる。」「アイデアがいっぱい。」「笑顔になれる。」「話し合いができる。」「みんなで楽しくなれる。」「なかまになれる。」などの言葉が出てきた。「みんなでです。」ことの大切さを教師自身が教えられたように思う。この言葉を教師も心に深く受け止め、日々の保育を園全体で取り組み、感じ方や表現の仕方は一人一人違うが、それを互いに認め合い、思いを分かち合うことで共に創造する楽しさや喜びを感じ、自分の思いを自由に表現する力が育ってほしい。半田幼稚園のよさを生かし幼児と共に感動をわかち合っていこうと思う。

幼稚園

5歳児 I期 (4月・5月・6月)	
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年長児になった喜びや期待をふくらませ、身近な人や環境に関わっていく。 ○ 友達とイメージを共有しながら遊ぶ楽しさを味わう。 ○ 身近な自然に関わり、美しさや季節の変化に興味をもつ。
ら表 資現 質に ・関 能わ みわ 力た いね	<p>感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。</p> <p>(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。【知識及び技能の基礎】</p> <p>(2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。【思考力、判断力、表現力等の基礎】</p> <p>(3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。【学びに向かう力、人間性等】</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な自然や社会の環境に触れたり関わったりして、遊びを楽しむ。 ○ 素材や用具の特性に興味をもって、自分なりに試したり工夫したりする楽しさを味わう。
幼 児 の 姿 (活 動 例)	<p>『あるある探検隊～春～』</p>  <p>○材料 森や自然の木々等 ○用具 特になし</p> <p>・毎年、年少児と年長児で縦割り班を組む。そして『あるある探検隊』を結成し、ワクワクに出会うため散歩をしたりネイチャーゲームをしたり自然に触れる。年長児は年少児とペアになることでお兄ちゃん、お姉ちゃんとしての自覚をもち、やる気と優しさに満ちている。「あの木、人間の顔みたいじゃな。」「葉っぱ見て。風で踊んよるみたいじゃな。」と幼児が発見したことや感じたことをのびのびと表現して友達と思いを共有することにより、一人一人の感じ方が違う事に気付いていけるようにする。五感を働かせて自然と関わる中で、自然の不思議さを知り、気付いたり考えたり、発見した喜びを友達と伝え合う楽しさを味わいながら探検は続いて行く。</p>
	<p>『こいのぼりづくり』</p>  <p>○材料 絵の具(水彩絵の具), 障子紙 ○用具 絵の具筆, ローラー, 霧吹き など</p> <p>・園の周りには気持ちよさそうにこいのぼりが泳いでいる。探検途中にこいのぼりの実物の大きさにびっくりしたり、本の読み聞かせからこどもの日の由来を知ったり、鯉はがんばると龍に進化する伝説を聞いたりすることで、大空に泳ぐこいのぼりに思いをさせた。「大きいこいのぼりをつくるには教室じゃせまいなあ。」「外でしょう。」と大きなキャンパスにおもいきり腕をふった。勢いよく描くと筆などの準備した用具だけではおさまらない。「先生、手でもかけたよ。これ、きれいだろ。」教師が共感し受け止めると、その方法は広がり体をつかうなどイメージを広げるとともに、友達と協力しながらいろいろな色の線やにじみを表現することを楽しんだ。</p>
	<p>『わくわくテントサイト』</p>  <p>○材料 木, 竹, ロープ, カラーポリ袋 ○用具 はさみ, のこぎり など</p> <p>・園庭のプラタナスを剪定すると、長い木の棒がたくさん集まった。これは何かに使えと幼児はイメージを膨らます。「いかだをつくろう。」と木を並べロープをぐるぐる巻いていく。「釣り竿がいるわ。」と波に揺られるまねをし大物を釣り上げる。幼児の遊びが展開していくと「みんなが休める家をつくろう。」とテントづくりが始まった。その頃には、道具の扱い方にも慣れ、用途に合わせてつかがうことが少しずつできるようになってきた。いろいろな大きさや形の木、竹を組み合わせて使い、友達と協力しながらつくる。のこぎり引きやロープの結び方など難しいことも試行錯誤しながら取り組み、自分たちのつくりたい物をつくることを楽しんだ。教師は幼児のイメージを読み取り、イメージに合った方法があることを知らせながら、安全に配慮し試したり工夫したりしてつくることを楽しめるようにすることも大切だった。</p>
	<p>『水たまりであそぼう』</p>  <p>○材料 水, 土, 木, 石, 笹 ○用具 木の枝, スコップ, 雨具, 長靴 など</p> <p>・雨の日の発見を共有しながら、友達と一緒に水、土の感覚を楽しんだり、場所による違いに気付いたりするため教師は梅雨の時期、雨の日ならではの発見を大切に、雨具や長靴を用意し戸外遊びを楽しめるようにする。また、雨の音やにおいなどを感覚で楽しみながら、クモの巣が雨粒で輝いている様子や園庭がぬかるむ感触を楽しんでいる様子に共感する。</p> <p>写真は幼児が「つくるよつくるよ」と歌を口ずさみながら園庭の枯れ木を使って水が流れる道をつくったり、「これはビーバーの巣だよ。」と木で水の流れをせき止めたり友達と一緒に雨の日ならではの遊びを楽しんでいる様子である。</p>

幼稚園

5歳児 Ⅱ期（7月・8月・9月）	
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達とのつながりを深め、互いの思いを伝え合いながら遊びを進める楽しさを味わう。 ○ 共通の目的に向かって力を合わせて取り組み、やり遂げる喜びを味わう。 ○ 夏の自然や環境に触れながら遊ぶ中で、試したり考えたり工夫したりして楽しむ。
ら表 資い現 質とに 育関 能みわ 力たる かた いね	<p>感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。</p> <p>(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。【知識及び技能の基礎】</p> <p>(2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。【思考力、判断力、表現力等の基礎】</p> <p>(3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。【学びに向かう力、人間性等】</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気付いたこと、経験したことなどを友達と思いを伝えながら、造形活動を楽しむ。 ○ 夏ならではの遊びを通して、いろいろな不思議に出会い、友達と探究しながら遊ぶ。
幼 児 の 姿 （ 活 動 例 ）	<p style="text-align: center;">『ピタゴラスイッチ～夏～』</p>  <p>○材料 竹、木 ○用具 のこぎり、金づち、ロープなど</p> <p>・「ピタゴラスイッチをつくろう。」毎年、木を使って身近にあるいろいろな物を転がすコースを試行錯誤しながらつくり上げる。今年は、遠足の途中、竹林を発見し「私流しそうめんをしたことあるよ。」とイメージを広げ、竹を用いてのピタゴラスイッチ遊びが始まった。竹は、転がりやすそうでは実は節があるので難しい。金づちで節が取れることを知らせると「やってみよう。」と慎重に節を叩いていく。昨年度の経験から道具の扱いに慣れている幼児が中心となり作業を進める。そこに、不安そうな表情で眺める年少児の姿があり「やってみよう。」と年長児が声をかけると「いいい。」と不安そうだ。竹や木をコースに並べ始めると、待ってましたとばかりに年少児も一緒になって竹や木を運ぶ。角度を細かく調整しながら何度も試し、作り直すことでコースができると「転がしてみよう。」と遊びを進める楽しさを味わっていく。</p>
	<p style="text-align: center;">『人型アート鑑賞』</p>  <p>○材料 人型アート ○用具 特になし</p> <p>・運動会に向け体の動きに目を向ける目的もあり人型アートを製作し、体の成長や動きのおもしろさを知った。完成した人型アートを体育館の側面に貼り付け園児みんなで鑑賞を行った。気付いたこと、経験したことなどを友達と思い思いに伝え合った。「あれ、ツバメが飛びよるみたい。」とその場に立ち上がり同じポーズをとる幼児。「あの模様は、スポンジを回しながらかいたんですよ。」と方法を伝える幼児。「みんな動き出しそう。これでほんができそうじゃなあ。」「目が合うような気がする。」とイメージを膨らませる幼児。みんな作品の大きさを見てその迫力を感じながら、形に重きをおく幼児や、技法に重きをおく幼児、直感のイメージを大切にしている幼児と様々だった。どの思考も聞いている人をワクワクさせる素敵な鑑賞の時間となった。</p>
	<p style="text-align: center;">『お楽しみ妖怪やしき』</p>  <p>○材料 段ボール、新聞紙、カラーポリ袋、布ガムテープ ○用具 はさみ、のこぎり など</p> <p>・七夕お楽しみ会で年少児がだいすきな妖怪屋敷をつくって招待しようと教室全体を使った製作が始まった。その中の目玉が井戸から出てくる妖怪である。この妖怪ができるまで幼児は様々な経験のもと試行錯誤を繰り返した。まず、戸外遊びからビニールロケットをつくり出し、ビニールには空気がたまり膨らむことを実感した。その経験から、同じビニールを使い牛乳パックの中にビニールをしぼませて、ストローで空気を送るとビニールお化けが出るという遊びを考えた。これをお化け屋敷に活かそうとするがなかなか成功しない。大きいビニールにうちわで空気を送ろうとしたり、段ボールパイプをストローに見立てて空気を送るがうまくいかない。すると、閃いたように「これは？」と幼児がサーキュレーターを指しみんなに伝えると、「やってみよう。」と下から空気を送り込んだ。ビニールはみるみる膨れあがり天井に届くほどになり「やったあ。」と歓声があがった。</p>
	<p style="text-align: center;">『半田盆地～夏～』</p>  <p>○材料 水、土、木、石、竹、カラーポリ袋、ビニール袋 など ○用具 セロハンテープ、ロープ、</p> <p>・半田の町は自然豊かな山々に囲まれ盆地になっている。ここ半田幼稚園は山、川を眺めることのできる自然に恵まれた場所に位置している。そこでこの自然を活かし夏の日の発見を共有しながら、友達と一緒に自然を楽しむ遊びを展開している。屋根から伸びるカラーポリ袋を巧みに操り「赤色のビニール見て、きれいだよ。」と風で揺れるビニールと太陽の光によって映し出される光景を見て感じたことを素直に伝え、「水が竹に入る音おもしろいけん聞いてよ。」とジョボジョボ注がれる音に注目し、「この花いいにおいがするけんにおって。」と草花に触れ、「みんな静かに。カエルの声でした。」敏感に生命の息吹を感じ取り遊びに没頭する幼児達。豊かな体験を加速させていく。</p>

幼稚園

5歳児 Ⅲ期（10月・11月・12月）	
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園全体での活動を楽しみながら、友達と心を通わせる経験を通し、親しみや愛情を広げる。 ○ 友達と共通の目的をもち、工夫しながら活動に取り組むことを楽しむ。 ○ 秋から冬にかけて自然の変化に気付き、好奇心や探究心を深める。
ら表 資い現 質とに 能育関 みわ かたる 力たる いね	<p>感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。</p> <p>（1）いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。【知識及び技能の基礎】</p> <p>（2）感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。【思考力、判断力、表現力等の基礎】</p> <p>（3）生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。【学びに向かう力、人間性等】</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園全体での触れあいを楽しみながら、一人一人のよさに気付き、親しみをもって心を通わせる。 ○ 友達と共通の目的に向けて遊ぶ中で、一緒に進めていく楽しさや、やり遂げた満足感を味わう。 ○ 秋の自然の美しさに触れ、素材の感触や物の性質などに気付き、イメージを膨らませて表現を楽しむ。
幼 児 の 姿 （ 活 動 例 ）	<p>『あるある探検隊～秋～』</p>  <p>○材料 森や自然の木々や実 ○用具 特になし</p> <p>・秋が深まり半田盆地が赤や黄色に色づき始めた。「そろそろあるある探検隊に行こう。」と新たな“であい”を求めている幼児達。近くの神社に行くと、さっそくドングリを発見。「トトロがおおしたんかなあ。」とつぶやきながらワクワクするものを探し始めた。「先生。見て見て。恐竜の爪じゃ。」「これは、へびみたいじゃな。」「めっちゃわくわくするわ。」と、どんどんワクワクの素材を集め、友達や教師に知らせる幼児達。自然物の特徴を捉え、いろいろなものに見立てイメージを膨らし製作意欲向上につながる体験となった。</p>
	<p>『わくわくの木』</p>  <p>○材料 新聞紙、模造紙、絵の具 ○用具 はさみ、のり、筆、ローラーなど</p> <p>・年少児が、新聞紙を丸め棒をつくり、ガムテープで組み合わせテント遊びをしていた様子を見ていた年長児から「何本かくっつけたら大きな棒ができるんちゃん。」という発想が生まれ「木みたいになるなあ。」「わくわくの森をつくらう。」と年少児が見つけた新聞遊びは瞬間に園全体に広がった。「木をつくるには、棒がいっぱいいるなあ。」「よし、100本つくらう。」「ええ、そんなにつくるんだったら何日もかかるわ。」と言いながら始めた新聞を丸める作業に夢中になり、その日のうちに年長児全員が指先を上手に扱い細く固い棒を作れるようになっていった。最初の繊細な部分のコツや指先で巻くところや、手のひらで巻くところ。優しく巻かないといけない部分。力を入れてもいい部分。繰り返すうちに身に付けた技術や友達とのやりとりから習得した手法など、自分達の力にびびくりした表情を浮かべると同時に満足そうだった。</p>
	<p>『恐竜博物館』</p>  <p>○材料 新聞紙、絵の具、木の実 ○用具 セロハンテープ、布ガムテープ、ボンド、筆など</p> <p>・親子バス遠足にて博物館に入館した幼児達は興奮気味に駆け寄ってきた。「なにかわくわくしたものはあった。」と聞くと「あった。あった。めっちゃわくわくしたよ。」「めっちゃ大きい骨があって、かっこよかった。」「ほんでな・・・」と恐竜の化石に大興奮で話しが止まらない。後日、幼稚園で遠足の思い出を発表していると「先生。恐竜の化石ってめっちゃわくわくしたけんつくらう。」「新聞紙丸めとるのほねになるんちゃん。」「背骨にとるもんな。」「あんな大きいうめ組に入るかなあ。」と巨大な恐竜の化石をつくることにつながった。教室の天井近くにぶら下げるとなかなかの迫力で、教室に入ると思わず「うわっ。でか。」と、大型製作の魅力を存分に味わいながら楽しんだ。</p>
	<p>『わくわくの森を親子で歩こう』</p>  <p>○材料 わくわく森 ○用具 なし</p> <p>・新聞紙でつくりあげたわくわくの木。ローラー等で和紙に表現した紅葉の山々。ロール段ボールで描いた魔女の森。新聞紙で思い思いの形を表現した恐竜博物館。集めた落ち葉でつくったばげばげはばげ。木々を集めつくったどんぐりころがしの巨大コース。自然物や空き箱でつくったドングリ人形の町などわくわくの森ができあがった。園全体での活動を楽しみながら一緒に進めていく楽しさや、やり遂げた満足感を味わうことができた。「小学生も呼ぼう。」と1年生と心を通わせる経験を通して、親しみや愛情を広げる。楽しい時間を過ごした幼児は「お母さん達も呼びたい。」と保護者の方々にも呼びかけ招待をした。自分がつくった物を誇らしそうに紹介したり、制作物と一緒に遊んだり、写真撮影をした。保護者の方に「すごいね。」と声をかけられると満足そうに笑顔の輪が広がった。</p>

幼稚園

5歳児 IV期（1月・2月・3月）	
ね ら い	<p>○ 友達といろいろな活動に楽しんで取り組みながら、自分の思いや感じたことを豊かに表現し合い、互いの成長を喜び認め合い、就学への期待をもつ。</p> <p>○ 自分らしさを大切にしながら、自信をもって行動し、協力して遊びや生活を進めていく充実感を味わう。</p>
ら表 資現 質と ・育 能関 みわ 力た いね	<p>感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。</p> <p>（1）いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。【知識及び技能の基礎】</p> <p>（2）感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。【思考力、判断力、表現力等の基礎】</p> <p>（3）生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。【学びに向かう力、人間性等】</p>
内 容	<p>○ 自分が感じたこと、イメージしたこと、伝えたいことを、素材や方法を工夫して表現することを楽しむ。</p> <p>○ 友達と一緒に身近な環境に関わり、予想したり確かめたり振り返ったりしながら、いろいろな新しい考えを生み出す喜びを味わう。</p>
幼 児 の 姿 （ 活 動 例 ）	<p style="text-align: center;">『おにさんといっしょに』</p>  <p>○材料 墨、画用紙、絵の具、クレヨン ○用具 筆、溶き皿</p> <p>・正月を迎え、年賀状や新年の誓いなどに墨を使っでの活動を経験した幼児達。節分を迎えるにあたり、絵本の読み聞かせをおこない、年少児と一緒に由来を再確認した。そこで、おにもいろいろなおにがいる事を知り、おにさんと一緒に遊んでいる絵を描きたいということになった。墨を使っでの絵画は黒の濃淡や線の太さなど表現方法が様々で、自分がイメージしたおにの絵に表した。絵が完成すると作品を並べ自分が表現した物を説明した。「おにさんとキャンプに行った。」「一緒に魚釣りをして大きい魚が釣れた。」「夜になって一緒に星を見てきれいだった。」と作品を並べると「おにさんといっしょに」という物語ができて作品がつながっていった。描くだけでなく、絵画をつなげることで新たな物語をつくる表現方法を見つけ出し喜び合った。</p>
	<p style="text-align: center;">『氷のクレヨン』</p>  <p>○材料 氷 ○用具 特になし</p> <p>・水道のホースの周りになにやら細長い氷が散乱していた。「こんなところに氷がいっぱいあるよ。」と幼児が友達に知らせる。幼児達は推理を働かせ「これは、ホースに残った水が凍ったんじゃ。」と興奮気味に伝えた。氷を触り濡れてしまった手をコンクリートでこすると線がひけた。これはとコンクリートの壁に氷で絵が描けることをひらめいた幼児は、得意気にクレヨンのような形の氷を手に取りお絵かきを楽しむ。「氷のクレヨンじゃ。」と偶然出会った自然からの贈り物にわくわくしている幼児は、周りの友達にも知らせ鼻歌交じりに思い思いのお絵かきを楽しんだ。</p>
	<p style="text-align: center;">『段ボールをつかって』</p>  <p>○材料 段ボール箱、布ガムテープ、カラーポリ袋 ○用具 はさみ、段ボールカッター、布ガムテープなど</p> <p>・園では、段ボールを使ってお化け屋敷や迷路など巨大な作品をたくさん作り遊びを進めてきた。その中で必要に応じて材料を選び使うことや、友達と一緒に作りたいたいもののイメージを話し合いながら工夫してつくることなどを経験してきた。今回は小学校との交流の中で、段ボールでの町作りに参加してもらい一緒に楽しんだ。小学生ならではのダイナミックな重ねの連鎖からできあがる高さを活かした造形物に幼児の心は弾んだ。新しい発想に触れる刺激を受けた幼児達。小学生への憧れを深めるとともに、ぼくも、わたしもしてみたいと次への意欲へつながった。</p>
	<p style="text-align: center;">『わくわくだいぼうけん』</p>  <p>○材料 1年間を通して製作してきた作品 ○用具 特になし</p> <p>・1年間を通してワクワクするものを見つけ、楽しんだ活動を幼小合同の学習発表会という場で発表した。1年間のできごとを劇にするため、活動の振り返りをした。制作物を見直し振り返ると「わたしたちの周りにはわくわくするものがいっぱいだね。」と気付いた。見て、聴いて、匂って、触って、味わってみる。そして友達や家族みんなと感動をわかちあう。そこには、ワクワクの世界が広がっている。このことを自ら体験し、自分の言葉で発信した『わくわくだいぼうけん』は感動的な劇となった。表現の仕方や考えはそれぞれ違うけれど思いを伝えることで一緒にやってみよう。一緒に感動しよう。一緒に楽しもう。という繋がりがうまれた。そんな様子を見ているとんだか教師も毎回ワクワクしてくる。そんな毎日を半田幼稚園では続けていきたい。</p>

小学校 図画工作科学習内容の系統表

[小学校部会テーマ]

「豊かにかかわり つながり 『わたし』をつくる造形教育」
—造形的な資質・能力を高め、共感し合える喜びを感じられる授業づくり—

○小学校テーマと学習内容系統性との関連

小学校では、表現及び鑑賞の活動を通して、子供たちが「表現内容」、「表現材料」、「表現方法」と豊かにかかわり、表現したい思いを実現させるため主体的に取り組んでいけるような活動、すべての子供たちの可能性を引き出し、個別最適な学びと協働的な学びを具現化できるような活動を目指している。

そのために、表現活動では子供同士や教師、自分自身との対話により作品を見つめ直し、「つくり、つくりかえ、つくる」ことができる活動を大切にすること、鑑賞活動では自他の作品のよさに目を向け、試みのよさを感じ取ることを通し、自分の見方や考え方を深められるような活動を大切にすることを意識しながら、学習内容系統性との関連を図り、次のような一覧表を作成した。

○小学校の学習内容系統性一覧表について









「造形遊び」、「絵や立体、工作に表す」、「鑑賞」について、低・中・高学年における発達段階や、幼稚園・中学校とのつながりなども考慮しながら、学習内容の一覧表を作成した。

「造形遊び」においては、活動内容を4つの活動に分類し、それらがどのような活動であるのかを示すとともに、指導実践例を示した。「絵や立体、工作に表す」では、具体的な活動例を挙げながら、その際にはどのような材料を活用するのか示すとともに、指導実践例を示した。「鑑賞」については、子供に出会わせたい作品についてや、活動として考えられる題材名、そして指導実践例を示して作成した。

小学校 A表現(1)ア(2)ア「造形遊び」

		第1学年及び第2学年	
目標及び内容	「思考力・表現力等」 「判断力」	(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 造形遊びをする活動を通して、身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えること。	
	「技能」	(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 造形遊びをする活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること。	
共通事項	「知識」	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付くこと。	
	「思考力・表現力等」 「判断力」	イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。	
主な四つの活動とその指導実践例	主に全身的な造形活動	<ul style="list-style-type: none"> ・体全体の感覚を働かせながら、思いのままにつなげたり、つるしたり、身に付けたりする全身的な活動 <p>『新聞紙☆ワールド』 〈材料・用具〉新聞紙、テープ他 〈方法〉思いつくままづくりつくりかえつくる、並べる、並べかえる、場所をかえる等</p>	  
	主に材料に基づく活動	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然物や人工の材料の形や色などに働きかける活動 <p>『にじいろコレクション』 〈材料・用具〉絵の具、ペットボトル他 〈方法〉思いつくままにつくりつくりかえつくる、並べる、並べかえる、場所をかえる等</p>	   
	主に場所・空間に挑む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・材料をちぎったり、切ったり、つなげたり、垂らしたりしながら、普段使っている教室等の場所や空間に挑む活動 <p>『新聞紙で教室を』 『ねんどで教室を』 〈材料・用具〉新聞紙、ねんど他 〈方法〉思いつくままにつくりつくりかえつくる、ちぎる、切る、つなぐ、垂らす等</p>	   
	主に構成遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・材料を切る、並べる、つなぐ、積んでいくような活動 <p>『ならべて、つないで』 〈材料・用具〉箱、はさみ他 〈方法〉思いつくままにつくりつくりかえつくる、切る、並べる、つなぐ、積む等</p>	   



小学校 A表現(1)ア(2)ア「造形遊び」

		第3学年及び第4学年	
目標及び内容	「思考力・表現力等」	(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 造形遊びをする活動を通して、身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること。	
	「技能」	(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 造形遊びをする活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくること。	
共通事項	「知識」	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。	
	「思考力・表現力等」	イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。	
主な四つの活動とその指導実践例	主に全身的な造形活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思いのままに発想や構想を繰り返し、友人とその面白さを共有しながらつくりだしていく全身的な活動  <p>『つなげてみると（左図）』 〈材料・用具〉黒画用紙、クリップ他 〈方法〉つなぐ、まるめる、かぶる等</p>  <p>『新聞紙の世界（右図）』 〈材料・用具〉新聞紙、テープ他 〈方法〉切る・つなぐ、組み合わせる入り込む等</p>	
	主に材料に基づく活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材料の形や色などの感じや、これまでのものづくりの経験から、材料や場を生かしてつくりだしていく活動  <p>『くみくみ ワクワク』 〈材料・用具〉業者が出した端材、両面テープ他 〈方法〉様々な端材の形や色から、新たな形を生み出していく。 思いのままに並べる・貼る、友達と作品のイメージを共有しながら並べる・貼る等</p> 	
	主に場所・空間に挑む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場所の感じから、表したいことを見つけ、友人と交流し合う中で新たなことを思い付きながら場所や空間に挑む活動  <p>『かべに何があらわれる？（左図）』 〈材料・用具〉画用紙、カッター他 〈方法〉切る、切り抜く、貼る等</p>  <p>『広ーい場所と新聞紙（右図）』 〈材料・用具〉新聞紙、糸他 〈方法〉切る、ぶら下げる、つなぐ等</p>	
	主に構成遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組み合わせる、形を変えてつくるなど表し方の感じに関心をもって取り組めるような活動  <p>『テーブルの上の色水』 〈材料・用具〉色水、画用紙他 〈方法〉並べて置く、組み合わせを考えて置く、置いた場所を変えてみる、並べた色水に合う飾りを考える等</p> 	



小学校 A表現(1)ア(2)ア「造形遊び」

		第5学年及び第6学年	
目標及び内容	「思考力・表現力等」 「判断力」	(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 造形遊びをする活動を通して、材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付くことや、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。	
	「技能」	(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 造形遊びをする活動を通して、活動に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくること。	
共通事項	「知識」	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。	
	「思考力・表現力等」 「判断力」	イ 形や色などの造形的な特徴を基に自分のイメージをもつこと。	
主な四つの活動とその指導実践例	主に全身的な造形活動	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動経験や体験を生かし、みんなで意見を出し合いながらつくりだしていく全身的な活動  <p>『見える見える遠くに近くに』 〈材料・用具〉 デジタルカメラ、タブレットPC他 〈方法〉場所を探す、友人と協力、イメージにあった絵や造形をそこに つくる等</p>  	
	主に材料に基づく活動	<ul style="list-style-type: none"> 材料に働きかけ、それらの特徴から発想したイメージを基に友人と協力しながらつくりだしていく活動  <p>『新聞紙ハウス』 〈材料・用具〉 新聞紙、テープ他 〈方法〉友人と協力、算数で習った事（立体表現）を活用する、バランスを考える等</p>  	
	主に場所・空間に挑む活動	<ul style="list-style-type: none"> 場所や周囲の様子を考え楽しみ、それらのよさや美しさについて理解しながら表現していく活動  <p>『見る場所を変えると』 〈材料・用具〉 模造紙、ビニールテープ他 〈方法〉場所を探す、友人と協力、イメージにあった絵や造形をそこに つくる等</p>    	
	主に構成遊び	<ul style="list-style-type: none"> 材料や場所などの特徴を関連させながら、構成の美しさや面白さなどを感じられるような活動  <p>『草アートタイム』 〈材料・用具〉 軍手、鎌、スコップ他 〈方法〉草を抜く、場所を探る、友人と協力して造形活動を楽しむ等</p>    	






小学校 A表現(1)イ(2)イ「絵や立体，工作に表す」

		第1学年及び第2学年
目標及び内容	「思考力・表現力等」 「判断力」	(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 絵や立体，工作に表す活動を通して、感じたこと，想像したことから，表したいことを見付けることや，好きな形や色を選んだり，いろいろな形や色を考えたりしながら，どのように表すかについて考えること。
	「技能」	(2) 表現の活動を通して，技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 絵や立体，工作に表す活動を通して，身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに，手や体全体の感覚などを働かせ，表したいことを基に表し方を工夫して表すこと。
共通事項	「知識」	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の感覚や行為を通して，形や色などに気付くこと。
	「思考力・表現力等」 「判断力」	イ 形や色などを基に，自分のイメージをもつこと。
表現方法（具体的活動例）	(知識) ・様々な材料を実際に見たり触ったりする等の体験的な活動を通して，形や色などの面白さに気付く。 (思考・判断・表現等) ・体験したことや関心のあるものから想像を広げ，表したいことを見付けて絵に表す。 ・身近な材料に触れながら，感じたことや想像したことを楽しく思いのままに立体に表す。 ・いろいろな形や色を見ながら，どのような飾りをつくるか考えて工作に表す。 (技能) ・自分や一番表したいもの・強く感じたもの（体験したことや関心があること）を中心に大きく絵に表す。 ・基底線の上に並んで立つように絵に表す。 ・身近な材料に十分に親しみながら，それらの見た感じや触った感じを味わいながら形をつくり，積んだり並べたりしながら立体に表す。 ・楽しみながら自らつくりだした形を壁につるしたり，飾ったりして工作に表す。 ・つくりたいものの感じが出るように，身近な材料を活用しながら着色したり接着したりする。 ・はさみやカッターナイフを正しく使い，つくりたい形に切ったり，切り込みを入れたりする。	
表現材料	○身近な自然物：土，粘土，砂，小石，木の葉，小枝，木の実，貝殻，雪や氷，水等 ○身近な人工の材料（廃材）：新聞紙，段ボール，布，ビニル袋，シート，包装紙，紙袋，縄，ひも，空き箱，クレヨン，パス，共用の絵の具等 ○その他の材料や用具：画用紙，厚紙，はさみ，のり，簡単な小刀類等	
キーワード	体験したこと，関心のあること，手や体全体の感覚などを働かせた活動，楽しみながら思いのままにできる活動，身近な材料や扱いやすい用具に十分に慣れる活動	
指導実践例	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>『シャボン玉アート』 (絵) 〈材料・用具〉 絵の具，ストロー， クレヨン他 〈方法〉吹き付ける， 描く，ぬる等</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>『ギョッとしたいわたしの友だち』（立体・工作） 〈材料・用具〉ボール紙，色紙，ペン他 〈方法〉丸める，ちぎる，貼りつける等</p> </div> </div>	

小学校 A表現(1)イ(2)イ「絵や立体，工作に表す」

		第3学年及び第4学年
目標及び内容	「思考力・表現力等」 「判断力」	(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。 イ 絵や立体，工作に表す活動を通して、感じたこと，想像したこと，見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色，材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。
	「技能」	(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 絵や立体，工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。
共通事項	「知識」	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。
	「思考力・表現力等」 「判断力」	イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。
表現方法（具体的活動例）	(知識) ・前学年までに活用した材料や中学年で扱う材料を、手や体全体を働かせながら多様に試みることができるよう活動を通して、形や色などの感じが分かる。 (思考・判断・表現等) ・形や色，材料などを生かしたり，想像を広げたりしながら工夫して絵に表す。 ・身近な材料を集め，それらを組み合わせたり，材料に応じた接合方法を考えたりしながら工夫して立体に表す。 ・材料をつないだり組み合わせたりして，ビー玉の転がる仕組みや迷路を工夫しながら工作に表す。 (技能) ・ある程度対象や事象を客観的に捉えられるようになってくるため，資料を活用しながら絵に表す。 ・パソコンの機能を生かした表し方を試しながら，絵に表す。 ・身近な材料を組み合わせたり，削ったり，つないだり，形を変えたり，材料に応じた接合方法を選んだりしながら立体に表す。 ・小刀，金づち，のこぎりなどの用具を適切に扱いながら工作に表す。	
表現材料	○前学年までに活用した材料 ○身近な自然物：木切れ，板材等 ○身近な人工の材料（廃材）：釘，水彩絵の具，小刀，使いやすいのこぎり，金づち，ボール紙，ダンボール紙，片面波ダンボール，工作用紙，色紙，スチレン皿，竹ひご，不織布，割りばし，紙粘土，糸，布，ビー玉等	
キーワード	進んで表現できるような活動，想像が広がる，背景の意識・写実性のめばえ，矛盾のある絵，組み合わせ，切る・つなげる，形を変える，前学年までの経験を生かす，材料や用具を適切に扱う	
指導実践例	 <p>『色イロもようで』（絵） 〈材料・用具〉紙，ビー玉，マーブリング液他 〈方法〉切る・ちぎる，転がす，写し取る等</p>  <p>『みんなで♪オンステージ』（立体・工作） 〈材料・用具〉空き箱，段ボール，輪ゴム他 〈方法〉切り抜く，組み合わせる，飾る等</p>	

小学校 A表現(1)イ(2)イ「絵や立体，工作に表す」

		第5学年及び第6学年
目標及び内容	「思考力・表現力等」 「判断力」	(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 絵や立体，工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴・構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること。
	「技能」	(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 絵や立体，工作に表す活動を通して、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。
共通事項	「知識」	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。
	「思考力・表現力等」 「判断力」	イ 形や色などの造形的な特徴を基に自分のイメージをもつこと。
表現方法（具体的活動例）	(知識) ・前学年までに活用した材料や用具を活用しながら工夫して、創造的につくったり表したりすることで、様々な形や色などの造形的な特徴を理解する。 (思考・判断・表現等) ・形や色、材料の特徴、奥行きやバランス、構成の美しさ、自分の感情などについて考えながら絵に表す。 ・身近な材料の質感を生かした表現やそれらを組み合わせることで生まれる変化、色の配置などについても考えながら工夫して・協力して立体に表す。 ・展示する場所や用途について意識し、電気糸のこぎりでつくり出すことができる形を生かせるように考えながら、自分らしい彩色をして工作に表す。 (技能) ・見通しをもち、ある程度構想をねってから（アイデアスケッチやパソコン上で）、絵の奥行きや前後関係のバランス、雰囲気意識しながら、資料を上手く活用して絵に表す。 ・既習の用具や電動糸のこぎりなどを使いながら、直線や曲線を自分の思いに合わせて切り抜き、材料の特徴を生かした組み合わせ方や用具の使い方、加工、接着、着色などを工夫して立体に表す。 ・針金をペンチやラジオペンチなどで切ったり曲げたりして工作に表す。	
表現材料	○前学年までに経験した材料 ○身近な自然物：木切れ、板材等 ○身近な人工の材料（廃材）：針金各種、スチレンボード、アクリル板、色セロハン、ちょうつがい、段ボール、電動糸のこぎり、角材、布、アルミ缶、雑誌・広告等	
キーワード	・主体的に表現できるような活動、・自分のイメージ、・ものの動きやバランス、・質感や量感、・奥行き ・抽象的な表現（表したい人の心情や物語の情景など）	
指導実践例	     <p>『高すてタワー』 （立体・工作） 〈材料・用具〉 新聞紙、はさみ、のり、テープ、色画用紙他 〈方法〉つくり方を相談する、役割を分担する丸める、束ねる、切る接着する、飾る等</p> <p>『想像のつばさを広げて』（絵） 〈材料・用具〉絵の具、色鉛筆、ラメペン他 〈方法〉構想を練る、画用紙を選ぶ、描く、彩色する、描き加える等</p>	

小学校 B鑑賞(1)ア

		第1学年及び第2学年
目標及び内容	「思考力・表現力等」	<p>(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。</p> <p>ア 身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。</p>
共通事項	「知識」	<p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付くこと。</p>
	「思考力・表現力等」	<p>イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。</p>
た出 い会 作 わ せ 品		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友だちの作品 ・身のまわりにある様々な素材（表現活動で使う材料・石や植物などの自然物など） ・絵本やわくわくする美術作品
題材例		<ul style="list-style-type: none"> ・かげをうつして ・大すきなたからもの ・お気に入り見つけた！ ・お絵かきリレー
キーワード		・色や形、表し方の面白さ・自分たちの作品や身近な材料・楽しく見る
指導実践例		<p>『ひかりのプレゼント』</p> <p>〈材料・用具〉 セロファン紙、はさみ、のり、テープ他</p> <p>〈方法〉 作品を光にかざして、色とりどりに映る影を楽しむ、友達の影と合わせる等</p>   <p>『ねんどといっしょに』(左)</p> <p>『あれこれスタンプ』(右下)</p> <p>〈材料・用具〉 粘土、どんぐり、小枝、身近にある日用品 他</p> <p>〈方法〉 机を向かい合わせでつくる、床を広く使ってつくる、友達の作品が目飛び込んでくるようにする等</p>  

小学校 B鑑賞(1)ア

		第3学年及び第4学年
目標及び内容	「思考力・表現力等」 「判断力」	(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。
共通事項	「知識」	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。
	「思考力・表現力等」 「判断力」	イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。
た 出 い 会 作 わ 品 せ		・自分たちの作品・表し方の変化の過程 ・暮らしの中のデザイン（アニメ・CG・ファッション・建築物など子どもたちを取り巻く様々な文化形態など） ・親しみのある美術作品
題材例		・みんなで演奏会 ・アートたんけんたい ・なかまをあつめて！ ・ここには、きっといるよ
キーワード		・表し方や材料による感じの違い・自分たちの作品や身近な美術作品や製作の過程など・よさや面白さを感じ取る
指導実践例		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p>『カラボの部屋（左図）』 〈材料・用具〉 空き箱、カップ、トレイ、のり、はさみ、カッター、テープ、両面テープ他 〈方法〉 カラーボールが住む部屋をつくる、部屋の紹介をする、感想を発表する等</p> </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;">  <p>5 ジェンダー平等を達成しよう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>7 エネルギーをクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業とイノベーションに力を集中しよう</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;"> <p>『みんなでオンステージ（右図）』 〈材料・用具〉 空き箱、ひも、輪ゴム、段ボール、のり、はさみ、カッターテープ、両面テープ他 〈方法〉 つくった楽器を使って演奏会を開く、感想を発表し合う等</p> </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div>

小学校 B鑑賞(1)ア

		第5学年及び第6学年
目標及び内容	「思考力・表現力等」 「判断力」	(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。
共通事項	「知識」	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。
	「思考力・表現力等」 「判断力」	イ 形や色などの造形的な特徴を基に自分のイメージをもつこと。
た 出 い 会 作 作 わ 品 せ		・自分たちの作品 ・デザインされた暮らしの中の造形品（標識サイン・広告・伝統的な人形や衣服・職人の手による生活用品など） ・造形的に構成された環境（造園・ネオンサイン・パブリックアートなど） ・我が国や諸外国の親しみのある美術作品
題材例		・共通点を探してみよう ・美術館クエスチョン鑑賞知ゲットだぜ！ ・アートレポーターになって ・あれこれアート作品
キーワード		・表し方の変化、表現の意図や特徴・我が国や諸外国の親しみのある美術、暮らしの中の作品・よさや美しさを感じとること
指導実践例		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p>『大塚国際クエストン（左図）』 〈材料・用具〉ワークシート、掲示物、PC、プレゼンが見られる大画面他 〈方法〉プレゼンで大塚国際美術館内にある作品に関する問題をクイズ形式で出題したり、班で作品のパズルをつくったりなどする等 〈効果〉遠足で訪れた時、子供の目の輝きが明らかに増し、子供たち自らが お目当ての美術作品を探して館内を動き回るようになる</p> </div> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;"> <p>『天空都市（右図）』 〈材料・用具〉ひも、プラ板、モール、カップ、空き箱、毛糸他 〈方法〉空中に浮いた都市をつくり、全学年を招く。空中都市を見た感想を用紙に書いてもらう。学習を振り返り学びを深める等</p> </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div>

中学校 美術科学習内容の系統表

〔中学校部会テーマ〕

「感動！ 創る楽しさ広がる世界」

○中学校テーマと学習内容系統性との関連

学習指導要領では、中学校美術科は「造形的な見方や考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」を育成する教科であることが示されている。それを受けて、本研究の中学校テーマを「感動！創る楽しさ広がる世界」とし、美術科の授業において、生徒たちが自己の感動やアイデアから形や色彩などを駆使して、新しい価値を生み出すとともに創り出す楽しさを感じ、自分たちを取り巻く社会や生活を心豊かにする活動となるよう実践研究を展開したいと考えた。

○系統性一覧表の作成について

「系統性を踏まえた学習内容の一覧」を作成するに当たり、学習指導要領の改訂内容を踏まえて、再整理した。「A 表現」については、発想や構想に関する資質・能力を基にし、表現活動に関連する「知識」、「思考・判断・表現」、「技能」及び「材料」等を洗い出すとともに、キーワード、題材例を示すこととした。また、「B 鑑賞」については、「ア 美術作品などに関する鑑賞」と「イ 美術の働きや美術文化に関する鑑賞」の2つの分類をもとに感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現と、目的や機能などを考えた表現との関連を図り、2つの視点いの分けて整理している。そして、これらにSDGsの視点を加えており、美術と社会のつながりについても考慮した美術教育の実践としたい。

中学校 「A表現」(1)ア(ア) (2) 感じ取ったことや考えたことなど(絵や彫刻など)

		第1学年
目標及び内容	「思考・判断・表現力等」	<p>(1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。</p>
	「技能」	<p>(2) 表現の活動を通して、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 発想や構想をしたことなどを基に、表現する活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。</p> <p>(イ) 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。</p>
	「共通事項」	<p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>
表現方法	(知識)	<p>三原色、補色、構図、一点透視図法、二点透視図法、空気遠近法、色による遠近法、量感(ボリューム)、動勢(ムーブメント)、均衡(バランス)、比例(プロポーション)</p>
	(思考・判断・表現)	<p>主題を生み出す、発想や構想について、色の組み合わせ、画面構成、描画材の選択・組み合わせ、技法の選択、材料の選択・組み合わせ、接着方法</p>
	(技能)	<p>スケッチ、クロッキー、デッサン、透明描法、不透明描法、混色と重色、厚塗り、薄塗り、平塗り、点描、ドライブラシ、水墨画(調墨、運筆)、版画(凸版)、粘土クロッキー、塑像(モデリング)、彫造(カービング)、写真、ばれん、版画プレス機、彫刻刀、粘土べら、粘土板、金づち、木づち、タブレット、カメラ、プリンター</p>
表現材料	<p>ポスターカラー、アクリル絵の具、水彩絵の具、鉛筆、色鉛筆、コンテ、パステル、各種ペン、墨、筆、画用紙、色画用紙、ケント紙、カーボン紙、版画用紙、版木、版画インク、粘土、木、バルサ材、流木、石けん、発泡スチロール、軟石、石、ボンド、ホットボンド</p>	
キーワード	<p>主題を生み出す 対象の形や色の特徴・美しさ 全体と部分の関係性</p>	
題材例	 <p>『見て感じて表そう』 〈材料〉 画用紙、鉛筆、水彩絵の具 〈方法〉 スケッチ 〈用具〉 鉛筆や水彩絵の具の使い方</p> 	 <p>『一瞬の動きをとらえて』 〈材料〉 加工粘土、絵の具 〈方法〉 塑像(モデリング) 〈用具〉 へらの扱い方、絵の具の塗り方</p> 

中学校 「A表現」(1)ア(ア) (2) 感じ取ったことや考えたことなど(絵や彫刻など)

		第2学年及び第3学年
目標及び内容	「思考力・判断力・表現力等」	<p>(1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料などの組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。</p>
	「技能」	<p>(2) 表現の活動を通して、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 発想や構想をしたことなどを基に、表現する活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。</p> <p>(イ) 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。</p>
	「共通事項」	<p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>
表現方法	(知識)	主調色、具象表現、抽象表現、単純化、省略、強調、コントラストやアクセント、タッチの工夫、インスタレーション、パブリックアート、環境彫刻
	(思考・判断・表現)	主題を生み出す、発想や構想について、色の組み合わせ、画面構成、描画材の選択・組み合わせ、技法の選択、材料の選択・組み合わせ、接着方法、環境や社会に与える影響
	(技能)	アニメーション、コンピュータグラフィックス、表現技法(マーブリング、スパッタリング、デカルコマニー、カラージュ、ドリップング、フロッタージュ、スタンピング、にじみ、たらしこみ)、水墨画(調墨、運筆)、版画(凹版、孔版、平版)、切り絵、レリーフ、和紙絵、ばれん、版画プレス機、彫刻刀、粘土べら、粘土板、金づち、木づち、タブレット、カメラ、プリンター、刷毛、ローラー、ニードル、カッターナイフ、カッターマット、のこぎり
表現材料	ポスターカラー、アクリル絵の具、水彩絵の具、鉛筆、色鉛筆、コンテ、パステル、各種ペン、墨、筆、画用紙、色画用紙、ケント紙、カーボン紙、版画用紙、版木、版画インク、粘土、木、バルサ材、流木、石けん、発泡スチロール、軟石、石、ポンド、ホットポンド、キャンパス、和紙、アルミホイル、アルミ缶、タイル、廃材、針金、写真素材、銅板	
キーワード	主題を生み出す 心の世界 単純化や省略、強調、材料の組合せ	
題材例	 <p>『命のかたち』 〈材料〉 加工粘土、 ポスターカラー、針金 〈方法〉 モデリング 〈用具〉 へらの扱い方</p> 	 <p>『今を生きる私』 〈材料〉画用紙、絵の具など 〈方法〉混色、重色、タッチの工夫、様々な表現技法 〈用具〉絵の具の扱い方</p> 


中学校 「A表現」(1)イ(ア) (2) 構成や装飾(デザインや工芸など)

		第1学年
目標及び内容	「思考力・判断力・表現力等」	<p>(1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。</p> <p>イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。</p> <p>(ア) 構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面から主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること。</p>
	「技能」	<p>(2) 表現の活動を通して、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 発想や構想をしたことなどを基に、表現する活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。</p> <p>(ア) 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。</p> <p>(イ) 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見直しをもって表すこと。</p>
	「共通事項」	<p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>
表現方法	(知識)	色の三要素(三属性)、色・光の三原色、補色、色の寒暖、色の軽重、色の強弱、類似と対照の配色、トーン(色調)、構成美の要素、伝統文様、伝統工芸、用と美の調和、素材の特性(紙、木、土など)、彫りの種類(片切り彫り、浮き彫り、石目彫り、やげん彫りなど)
	(思考・判断・表現)	主題を生み出す、発想や構想について、デザイン化(単純化・強調など)、画面構成、配色計画、素材や技法の選択の組み合わせ
	(技能)	ポスターカラーやアクリル絵の具の使い方、ICT機器の活用の仕方、(デジタルカメラ、タブレット端末、アプリケーションソフトの活用など)、紙の加工(貼る、折る、切るなど)、木の加工(彫る、切る、組むなど)
表現材料	ポスターカラー、アクリル絵の具、鉛筆、色鉛筆、ペン、マジック、インク、画用紙、色画用紙、ケント紙、和紙、色紙、イラストボード、パネル、厚紙、段ボール、木、アクリル板、プラスチック、消しゴム、コルクボード、ウッドシート、自然物、塗料・染料	
キーワード	構成や装飾の目的や条件 対象の特徴や用いる場面 美的感覚と調和のとれた美しさ	
題材例	<p>『手ぬぐいのデザインをしよう～スタンプを使って～』</p> <p>〈材料〉手ぬぐい、消しゴム、アクリル絵の具</p> <p>〈表現〉スタンプング</p> <p>〈用具〉デザインカッター</p>	<p>『私だけのハッピーフレーム』</p> <p>〈材料〉身近な素材(貝殻、石、木、ビーズ、布など)</p> <p>〈方法〉接着</p> <p>〈用具〉接着剤</p>
	 	 




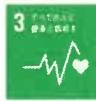



中学校 「A表現」(1)イ(ア) (2) 構成や装飾(デザインや工芸など)

		第2学年及び第3学年
目標及び内容	「表現力・創造力・想像力」	<p>(1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。</p> <p>イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。</p> <p>(ア) 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。</p>
	「技能」	<p>(2) 表現の活動を通して、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 発想や構想したことなどを基に、表現する活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。</p> <p>(ア) 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。</p> <p>(イ) 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。</p>
(共通事項)	「知識」	<p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>
表現方法	(知識)	色の対比(色相対比, 補色対比, 明度対比, 彩度対比), 色の進出・後退, 色の膨張・収縮, デザインの分類, 世界の文様, 日本の伝統色, 素材の特性(金属, 堆朱, 石, ガラスなど)
	(思考・判断・表現)	主題を生み出す, 発想や構想について, 形や素材からの発想, 季節のデザイン, 素材や技法の選択や組み合わせ
	(技能)	金属の加工(鑄金, 彫金, 鍛金), 用具等の使い方(印刀, 金切りばさみ, つち, たがね, いぶし液など), 転写の仕方(トレーシングペーパーの使い方, カーボン紙の使い方), 研磨の仕方(耐水ペーパーの使い方, 研磨剤の使い方)
表現材料	ポスターカラー, アクリル絵の具, 鉛筆, 色鉛筆, ペン, マジック, インク, 画用紙, 色画用紙, ケント紙, 和紙, 色紙, イラストボード, パネル, 厚紙, 段ボール, 木, 金属(銅, アルミ, 針金など), 堆朱, 合成樹脂, 皮革, 石, ガラス	
キーワード	構成や装飾の目的や条件 調和のとれた洗練された美しさ 用いる場面や環境 総合的 社会との関わり	
題材例	<p>『季節の美しさを和菓子に込めて』</p> <p>〈材料〉樹脂粘土, ポスターカラー</p> <p>〈方法〉粘土の成形, 細工(練る, 切る, 巻く, 型抜きなど)</p> <p>〈用具〉粘土べら, 細工用はさみ</p>  	<p>『藍のある生活～コースター&のれん』</p> <p>〈材料〉染料(藍), 布</p> <p>〈方法〉染色・抜染</p> <p>〈用具〉型紙, のり, 抜染液</p>    

中学校 「A表現」(1)イ(イ) (2) 伝達 (デザインや工芸など)

		第1学年		
目標及び内容	「思考力・判断力・表現力等」	(1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。 イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。 (イ) 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。		
	「技能」	(2) 表現の活動を通して、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。 ア 発想や構想をしたことなどを基に、表現する活動を通じて、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (ア) 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 (イ) 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しを持って表すこと。		
	「共通事項」	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。		
表現方法	(知識)	無彩色、有彩色、色の三要素（三属性）、色相環、純色、濁色、明清色、暗清色、色の三原色、光の三原色、補色、色の寒暖、色の軽重、色の調子（トーン）、構成美の要素、類似と対象の配色、単純化・強調、基本書体、著作権・肖像権について		
	(思考・判断・表現)	デザイン化、単純化・強調、画面構成、配色、レタリング（字体の選抜・変形）、マーク、絵文字、写真、CG、マンガ		
	(技能)	ポスターカラーやアクリル絵の具の使い方(パレットの使い方、筆の使い方、水入れの使い方、マスキングテープの使い方など)、水張りの仕方、刷毛の扱い方、デジタルカメラ、アプリケーションの使い方、パソコン、タブレット、デジタルカメラの基本操作		
表現材料	ポスターカラー、アクリル絵の具、鉛筆、色鉛筆、コンテ、パステル、マジック、LED、画用紙、ケント紙、和紙			
キーワード	目的や条件	構成や装飾	用途や機能	
題材例	 <p>『地域をアピールしよう ～ゆるキャラをつくらう～』 〈材料〉色鉛筆、ICT機器 〈方法〉色鉛筆によるアイデアスケッチ 〈用具〉タブレット</p>	 <p>『漢字の感じを表そう ～絵文字～』 〈材料〉ケント紙、ポスターカラー 〈方法〉アイデアスケッチのデザイン化、着彩 〈用具〉平筆、彩色筆、面相筆</p>		

中学校 「A表現」(1)イ(イ) (2) 伝達(デザインや工芸など)

		第2学年及び第3学年
目標及び内容	「思考力・判断力・表現力等」	<p>(1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。</p> <p>イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。</p> <p>(イ) 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。</p>
	「技能」	<p>(2) 表現の活動を通して、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 発想や構想をしたことなどを基に、表現する活動を通じて、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。</p> <p>(イ) 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。</p>
「共通事項」	「知識」	<p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>
表現方法	<p>(知識) 色の三属性、色の三要素、光の三原色、補色、色の寒暖、色の軽重、構成美の要素、類似と対象の配色、色彩からの発想、色相対比、補色対比、明度対比、彩度対比、日本の伝統文様、日本の伝統色、著作権・肖像権について</p> <p>(思考・判断・表現) デザイン化、単純化・強調、画面構成、透視図法、工業デザイン、環境デザイン、視覚伝達デザイン、ピクトグラムレタリング(字体の選択・変形)、マーク、絵文字、写真、CG、マンガ</p> <p>(技能)ポスターカラー・アクリル絵の具の使い方(パレットの使い方、筆の使い方、水入れの使い方、マスキングテープの使い方など)、水張りの仕方、刷毛の扱い方、モダンテクニック(コラージュ、スパッタリング、フロッターージュ、ドリッピング、マーブリング、パチックなど) デジタルカメラ、アプリケーションの使い方、パソコン、タブレット、デジタルカメラの基本操作</p>	
表現材料	<p>ポスターカラー、アクリル絵の具、鉛筆、色鉛筆、コンテ、パステル、マジック、インク、LED、画用紙、ケント紙、和紙、色画用紙、イラストボード、パネル、色紙、セロハン、厚紙、工作用木材(杉、ラワン、ほう、桂)、粘土(軽量粘土、テラコッタ、楽、信楽など)、アクリル、プラスチック、コルクボード、ウッドシート</p>	
キーワード	<p>社会との関わり 伝達の効果と美しさなどとの調和 総合的</p>	
題材例	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;"> <p>『一瞬で伝えるデザイン～ピクトグラムをつくろう～』 〈材料〉ケント紙、色画用紙 〈表現方法〉ピクトグラム・デザイン化・単純化・強調 〈用具〉カッター・はさみ、のり</p> </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div> <p>「メッセージを届けよう～ポスターをつくろう～」 〈材料〉画用紙、ポスターカラー 〈表現方法〉テーマ・メッセージをもとに発想や構想、表現方法の工夫 〈用具〉平筆、彩色筆、面相筆</p> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;">       </div>	

中学校 「A表現」(1)イ(ウ) (2) 用途や機能など(デザインや工芸など)

		第1学年				
目標及び内容	「 思考力・判断力・表現力等」	(1)表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。 イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通じて、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (ウ) 使う目的や条件などを基に、使用する者の気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。				
	「 技能」	(2)表現の活動を通じて、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。 ア 発想や構想したことなどを基に、表現する活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (ア) 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 (イ) 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。				
「 共通事項」	「 知識」	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通じて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。				
表現方法		(知識) 紙の種類と特性、紙の加工法(切る、折る、貼る等) 木の種類と特性、木の加工法(彫る、切る、組み合わせる)、彫り方の種類(菱合い彫り、かまぼこ彫り、薬研彫り等) 焼き物の種類、陶芸による成型の特性、粘土の成形法(板づくり、ろくろづくり、紐づくり等)				
		(思考・判断・表現) 主題を生み出す発想や構想について、目的や機能に応じて表現材料を選択する。 使う人の気持ちになって、形や色彩、装飾などを考える。 目的や機能に応じて加工法や技法を選択する。				
表現材料		(技能) はさみ、カッターナイフの使い方、接着剤(エポキシ系、樹脂系等)の扱い方、彫刻刀の使い方、紙やすりの使い方、刷毛・塗料類の扱い方、鋸(電動糸のこ、糸のこ)の使い方、粘土の扱い方、陶芸用具の使い方、				
		和紙、画用紙、色画用紙、ケント紙、新聞紙、段ボール、色紙、 木材(スギ、カツラ、ホオ、サクラ)コルクボード、ウッドシート、木彫カラー、ニス、ワックス、木口ウ、 陶芸用粘土、釉薬				
キーワード		目的や条件	材料の特性	使用者の気持ち	使いやすさ	機能と美しさ
題材例						
		『鍋敷きをつくろう』 〈材料〉 板材、木彫カラー、ワックス 〈方法〉 かまぼこ彫り、浮き彫り 石目彫り 等 〈用具〉 彫刻刀 紙やすり 刷毛 布		『おもてなしの食器をつくろう』 〈材料〉 陶芸用粘土、釉薬 〈方法〉 板づくり、紐づくり、玉づくり、ろくろづくり 〈用具〉 彫塑へら 粘土板 手ろくろ、たたら板、 延べ棒、鹿皮		

中学校 「A表現」(1)イ(ウ) (2) 用途や機能など(デザインや工芸など)

		第2学年及び第3学年						
目標及び内容	「思考力・判断力・表現力等」	(1)表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。 イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通じて、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (ウ) 使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。						
	「技能」	(2)表現の活動を通じて、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。 ア 発想や構想したことなどを基に、表現する活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (ア) 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。 (イ) 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。						
	「共通事項」	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通じて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。						
表現方法		(知識) デザインの分類(工業デザイン、環境デザイン、視覚伝達デザイン)、伝統工芸 金属の種類と特性、金属の加工法(鋳金、彫金、鍛金、切る、曲げる等) 明かりの種類、色光の三原色(加法混色、RGB)、光の色の心理効果 (思考・判断・表現) 主題を生み出す発想や構想について、目的や機能に応じて表現材料や加工法、技法を選択する。 使う人の立場に立って、形や色彩、装飾などを考える。 光による心理効果を意識して、明かりの使用目的や設置場所を考える。						
		(技能) 金属ヤスリ・耐水ペーパーの使い方、研磨剤の使い方、ガスコンロ・ガスバーナーの使い方、金切りバサミの使い方、たがねの使い方、つち(金づち、木づちなど)の使い方、薬品(酸、腐食液など)の使い方、やっこの使い方、金床の使い方、張り子の手順						
表現材料		金属(アルミ、銅、真鍮、合金メタル、針金など)、 ケント紙、和紙、色画用紙、色紙、工作用紙、LED、木材、紙粘土、樹脂粘土、 自然物(流木、石、枯葉など)、人工物(ピン、充填材、包装紙、ひも類など)						
キーワード		目的や条件	使用者の立場	社会との関わり	機知やユーモア	使いやすさ	機能と美しさ	
題材例								
		<p>『ネームプレートをつくろう』</p> <p>〈材料〉真ちゅう板 〈方法〉彫金、エッチング 〈用具〉ニードル、腐食液 耐水ペーパー 研磨剤 布</p> 			<p>『空間を演出する明かりをつくろう』</p> <p>〈材料〉和紙、風船、針金、水のり、LEDランプ 〈方法〉張り子 〈用具〉刷毛</p> 			

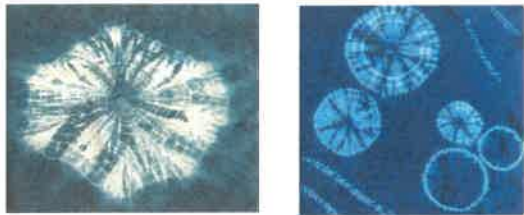








中学校 「B鑑賞」(1)ア(ア) 感じ取ったことや考えたことなど(美術作品など)

		第1学年
目 標 及 び 内 容	「思考力・判断力・表現力等」	<p>(1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 美術作品などの見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指</p> <p>感</p> <p>(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。</p>
(共通事項)	「知識」	<p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>
出 会 わ せ た い 作 品		<p>○作家作品（絵画作品・彫刻作品）</p> <p>【日本：弥勒菩薩半跏思惟像、阿修羅像、奈良の大仏、東大寺金剛力士像、三十三間堂千手観音像、平等院鳳凰堂阿弥陀如来座像、鳥獣人物戯画、信貴山縁起絵巻、雪舟「秋冬山水図」、狩野永徳「繪図屏風」、長谷川等伯「松林図屏風」、俵屋宗達「風神雷神図屏風」、尾形光琳「紅白梅図屏風」酒井抱一「夏秋草図屏風」、(浮世絵)葛飾北斎「富嶽三十六景」、喜多川歌麿「松葉楼装ひ美を通す風情」、歌川広重「東海道五十三次」、東洲斎写楽「三代目大谷鬼次の奴江戸兵衛」、菱川師宣「見返り美人図」、伊藤若冲「群鶏図」、高橋由一「鮭」、黒田清輝「湖畔」、青木繁「海の幸」、安井曾太郎「金蓉」、高村光太郎「手」、小磯良平「斉唱」、上村松園「序の舞」、湯横山大観「生々流転」、佐伯祐三「郵便配達夫」、岡本太郎「太陽の塔」、「明日への神話」、棟方志功「釈迦十大弟子」、イサム・ノグチ「ブラッド・スライド・マントラ」、佐藤忠良「若い女の像」、東山魁夷「道」、絹谷幸二「長野オリンピック公式ポスター」「アンジェラと青い空II」、片山球子「富士山」シリーズ、山下清「トンネルのある風景」、北岡明佳「蛇の回転3」、草間彌生「南瓜」、千住博「ウォーター・フォール」、船越桂「支えられた記憶」、手塚治虫「鉄腕アトム」「火の鳥」、宮崎駿「千と千尋の神隠し」】</p> <p>【諸外国：ツタンカーメンの黄金のマスク、パルテノン神殿、ミロのヴィーナス、アンコールワット、(ルネサンス)レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナリザ」「最後の晩餐」、ミケランジェロ「ピエタ」「ダヴィデ像」、ラファエロ「小椅子の聖母」「アテネの学堂」、ボッティチェリ「ヴィーナス誕生」「春・プリマヴェーラ」、フェルメール「真珠の耳飾りの少女」「牛乳を注ぐ女」、レンブラント「夜警」、ダヴィット「皇帝ナポレオンと皇妃ジョゼフィーヌの戴冠」、ベラスケス「ラス・メニーナス」、ターナー「雨・蒸気・速度」、ミレー「落ち穂拾い」、(印象派)ゴッホ「ひまわり」「タンギー爺さん」「星月夜」、ルノアール「舟遊びをする人たちの昼食」、モネ「睡蓮」「印象・日の出」「ラ・ジャポネーズ」、セザンヌ「りんごとオレンジ」、スーラ「グランドジャット島の日曜日の午後」、クリムト「接吻」、ムンク「叫び」、ロダン「考える人」、ジャコメッティ「歩く男I」(アール・ヌーヴォー)エミール・ガレ、ガウディ「サグラダファミリア」、(フォービズム)マティス「ダンスII」、(キュビズム)ピカソ「アヴィニヨンの娘たち」「泣く女」「ゲルニカ」、(シュールレアリズム超現実主義)ダリ「記憶の固執」、シャガール「私と村」、マグリット「大家族」、エッシャー「物見の塔」、モンドリアン「ブロードウェイ・ブギウギ」、デュシャン「泉」、カンディンスキー「コンポジション」シリーズ、(ポップアート)アンディー・ウォーホル「キャンベル・スープ缶」「マリリン」、ステラ「恐れ知らずの愚か者」、エリック・カール「はらぺこあむし」】</p> <p>○地域作家作品【日下八光(日本画)、三宅克己(水彩画)、井原宇三郎(油彩画)、清原重徳知(油彩画)、山下菊二(油彩画)、板東文夫(彫刻)、吹田文明(版画)、竹宮恵子(漫画)、三好和義(写真)】</p> <p>○美術館所蔵作品【徳島県立近代美術館：ピカソ「ドラ・マールの肖像」、メッツァンジェ「自転車乗り」、クレー「子供と伯母」、ムーア「着衣の横たわる母と子」、シャガール「ベンチに座るサングラスの女」、大塚国際美術館：ミケランジェロ「最後の審判」「天地創造」、スクロヴェーニ礼拝堂、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」修復前後、モネ「大睡蓮」、相生森林美術館】</p>
キー ワ ー ド		<p>絵や彫刻などの、感じ取ったことや考えたことなどを基にした作品等の鑑賞</p> <p>形や色彩、材料、光などの造形の要素に着目</p> <p>全体のイメージや作風などに着目</p>
題 材 例		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p>『ひまわりにこめたゴッホの思い』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品について気づいたことを語り合おう。 ・ 形や色などから、ゴッホが作品に込めた思いを考えよう。 ・ 浮世絵がゴッホに与えた影響について話し合ってみよう。 </div> <div style="width: 30%;">  <p>『あーとかるたをつくろう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品から感じたことを言葉にしてかるたの読み札をつくろう。 ・ かるたの読み札のついて説明したり、気づいたことを語り合ったりしよう。 </div> </div>

中学校 「B鑑賞」(1)ア(ア) 感じ取ったことや考えたことなど(美術作品など)

		第2学年及び第3学年
目標及び内容	(一) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。 ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。	
(共通事項)	(一) 知識 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。	
出会わせたい作品	<p>○作家作品（絵画作品・彫刻作品）</p> <p>【日本：弥勒菩薩半跏思惟像，阿修羅像，奈良の大仏，東大寺金剛力士像，三十三間堂千手観音像，平等院鳳凰堂阿弥陀如来座像，鳥獣人物戯画，信貴山縁起絵巻，雪舟「秋冬山水図」，狩野永徳「檜図屏風」，長谷川等伯「松林図屏風」，俵屋宗達「風神雷神図屏風」，尾形光琳「紅白梅図屏風」，酒井抱一「夏秋草図屏風」，（浮世絵）葛飾北斎「富嶽三十六景」，喜多川歌麿「松葉楼装ひ実を通す風情」，歌川広重「東海道五十三次」，東洲斎写楽「三代目大谷鬼次の奴江戸兵衛」，菱川師宣「見返り美人図」，伊藤若冲「群鶏図」，高橋由一「鮭」，黒田清輝「湖畔」，青木繁「海の幸」，安井曾太郎「金簪」，高村光太郎「手」，小磯良平「斉唱」，上村松園「序の舞」，湯横山大観「生々流転」「富嶽飛翔」，佐伯祐三「郵便配達夫」，岡本太郎「太陽の塔」，「明日への神話」，棟方志功「釈迦十大弟子」，イサム・ノグチ「ブラッド・スライド・マントラ」，佐藤忠良「若い女の像」，東山魁夷「道」，絹谷幸二「長野オリンピック公式ポスター」「アンジェラと青い空II」，片山球子「富士山」シリーズ，山下清「トンネルのある風景」，北岡明佳「蛇の回転3」，草間彌生「南瓜」，千住博「ウォーター・フォール」，船越桂「支えられた記憶」，手塚治虫「鉄腕アトム」「火の鳥」，宮崎駿「千と千尋の神隠し」】</p> <p>【諸外国：ツタンカーメンの黄金のマスク，パルテノン神殿，ミロのヴィーナス，アンコールワット，（ルネサンス）レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナリザ」「最後の晩餐」，ミケランジェロ「ピエタ」「ダヴィデ像」，ラファエロ「小椅子の聖母」「アテネの学堂」，ボッティチェリ「ヴィーナス誕生」「春・プリマヴェーラ」，フェルメール「真珠の耳飾りの少女」「牛乳を注ぐ女」，レンブラント「夜警」，ダヴィッド「皇帝ナポレオンと皇后ジョゼフィーヌの戴冠」，ベラスケス「ラス・メニーナス」，ターナー「雨・蒸気・速度」，ミレー「落ち穂拾い」，（印象派）ゴッホ「ひまわり」「タンギー爺さん」「星月夜」，ルノアール「舟遊びをする人たちの昼食」，モネ「睡蓮」「印象・日の出」「ラ・ジャポネーズ」，セザンヌ「りんごとオレンジ」，スーラ「グランドジャット島の日曜日の午後」，クリムト「接吻」，ムンク「叫び」，ロダン「考える人」，ジャコモッティ「歩く男I」（アール・ヌーヴォー）エミール・ガレ，ガウディ「サグラダファミリア」，（フォービズム）マティス「ダンスII」，（キュビズム）ピカソ「アヴィニヨンの娘たち」「泣く女」「ゲルニカ」，（シュールレアリスム超現実主義）ダリ「記憶の固執」，シャガール「私と村」，マグリット「大家族」，エッシャー「物見の塔」，モンドリアン「ブロードウェイ・ブギウギ」，デュシャン「泉」，カンディンスキー「コンポジション」シリーズ，（ポップアート）アンディー・ウォーホル「キャンベル・スープ缶」「マリリン」，ステラ「恐れ知らずの愚か者」，エリック・カール「はらぺこあおむし」】</p> <p>○地域作家作品【日下八光（日本画），三宅克己（水彩画），井原宇三郎（油彩画），清原重孝知（油彩画），山下菊二（油彩画），板東文夫（彫刻），吹田文明（版画），竹宮恵子（漫画），三好和義（写真）】</p> <p>○美術館所蔵作品【徳島県立近代美術館：ピカソ「ドラ・マールの肖像」，メッツァンジェ「自転車乗り」，クレー「子供と伯母」，ムーア「着衣の横たわる母と子」，シャガール「ベンチに座るサングラスの女」，絹谷幸二「青空のある自画像」，大塚国際美術館：ミケランジェロ「最後の審判」「天地創造」，スクロヴェーニ礼拝堂，レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」修復前後，モネ「大睡蓮」，相生森林美術館】</p>	
キーワード	創造的な工夫 美意識を高める 見方や感じ方を深める	
題材例	 <p>『ピカソの思いを感じ取ろう～ゲルニカ～』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に描かれている内容を想像しよう。 ・形や色などから、ピカソが作品に込めた思いを考えよう。  <p>『展覧会をプロデュースしよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品カードをもとに，テーマを決めて展覧会を考えよう。 ・展覧会のテーマや選んだ作品について説明したり，気づいたことを語り合ったりしよう。  	

中学校 「B鑑賞」(1)ア(イ) 目的や機能など(美術作品など)

		第1学年
目標及び内容	「思考力・判断力・表現力等」	<p>(1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 美術作品などの見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(イ) 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。</p>
(共通事項)	「知識」	<p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>
出会わせたい作品		<p>○作家作品（日本や諸外国の作品）【例：日本：榮久庵憲司「キッコーマン醤油差し」、剣持勇「ヤクルト容器」、勝見勝「東京オリンピック（1964）のピクトグラム」、廣村正彰「東京オリンピック（2020）のピクトグラム」、芹沢銈介「風の字のれん」、亀倉雄策「東京オリンピック（1964）のポスター」、野老 朝雄「東京オリンピック（2020）のエンブレム」、平野甲賀「『深夜特急』の装丁など手がけた作品」永井一正「JRのロゴ」、佐藤可士和「ユニクロのロゴ」、佐藤卓「デザインあ」】【例：諸外国：ウィリアム・モリス「いちご泥棒」、マウリッツ・コルネリス・エッシャー「敷き詰め模様」】</p> <hr/> <p>○伝統工芸【例：藍染、阿波しじら織、大谷焼、阿波和紙、阿波人形浄瑠璃、遊山箱、水引など】</p> <hr/> <p>○デザイン【視覚伝達デザイン：構成美の要素、レタリング、絵文字、ピクトグラム、駅や施設のロゴマーク、ポスター（人権ポスター、交通安全ポスターなど）、ご当地キャラクター（すだちくん）、ネームスタンプ、ポストカードなど】【工業デザイン：パッケージ、文房具、模様、食器、フォトフレームなど】【環境デザイン：インテリアなど】</p>
キーワード		<p>目的や機能との調和のとれた美しさ より主体的に見方や感じ方を広げる</p> <p>作者の心情や表現の意図と工夫 思いや考えを説明し合う</p>
題材例		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>『徳島の誇り 藍について学ぼう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳島県における藍の生産についてや藍染めの方法について学ぼう。 ・藍染めの作品を鑑賞し、その魅力や美しさを味わい、他者と意見を交換しよう。  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> 4 質の高い教育をみんなに</div> <div style="text-align: center;"> 9 産業と技術革新の基盤をつくろう</div> <div style="text-align: center;"> 11 気候に強いまちをつくらう</div> <div style="text-align: center;"> 17 パートナーシップで目標を達成しよう</div> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>『デザインでコミュニケーション～ポスターについて考えよう～』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターのテーマ、作者の意図や表現の工夫について理解しよう。 ・考えたことをワークシートにまとめたり、発表したりしよう。  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> 10 人の間を近づけて不平等をなくそう</div> <div style="text-align: center;"> 16 平和と公正な社会を築こう</div> <div style="text-align: center;"> 17 パートナーシップで目標を達成しよう</div> </div> </div> </div>

中学校 「B鑑賞」(1)ア(イ) 目的や機能など(美術作品など)

		第2学年及び第3学年	
目標及び内容	「鑑賞」	(1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。 ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。	
(共通事項)	「知識」	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。	
出会わせたい作家		<p>○作家作品(日本や諸外国の作品)【例:日本:榮久庵憲司「キッコーマン醤油差し」、剣持勇「ヤクルト容器」、勝見勝「東京オリンピック(1964)のピクトグラム」、廣村正彰「東京オリンピック(2020)のピクトグラム」、芹沢銈介「風の字のれん」、亀倉雄策「東京オリンピック(1964)のポスター」、野老朝雄「東京オリンピック(2020)のエンブレム」、平野甲賀「『深夜特急』表紙装丁デザイン」、永井一正「JRのロゴ」、佐藤可士和「ユニクロのロゴ」、佐藤卓「デザインあ」、藤島藤二「『みだれ髪』表紙装丁デザイン」、中村佑介「『謎解きはディナーのあとで』表紙装丁デザイン」、角川文庫×かまわぬ「かまわぬカバー」、藤森健次「座椅子」、剣持勇「丸椅子」、COCHAE「きびだんごのパッケージ」、五味太郎「元祖きびだんご」、猪熊弦一郎「華ひらく(三越包装紙)」、森口邦彦「実り(三越紙袋)」、安藤忠雄「光の教会」「地中美術館」「ベネッセハウス」、隈研吾「国立競技場」、GROOVE X社「LOVOT」、シャープ「RoBoHoN」、ソフトバンクロボティクス「Pepper」、ソニー「AIBO」、ボストン・ダイナミクス「SPOT」、ユカイ工学「Qoobo」】【例:諸外国:ウィリアム・モリス「いちご泥棒」、マウリッツ・コルネリス・エッシャー「敷き詰め模様」、ルートグラスカンパニー「コカ・コーラ瓶」、アルネ・ヤコブセン「アント(蟻)」、ピーター・オプスヴィック「トリップ トラップ」、ヘリット・トーマス・リートフェルト「ジグザグ」、テルイエ・エクストレム「エクストレム」、キース・ヘリング「キース・ヘリングチェア」、イサム・ノグチ「モエレ沼公園」「AKARI」など】</p> <p>○伝統工芸【例:藍染、阿波しじら織、大谷焼、阿波和紙、阿波人形浄瑠璃、遊山箱、水引など】</p> <p>○デザイン【視覚伝達デザイン:構成美の要素、レタリング、絵文字、ピクトグラム、駅や施設のロゴマーク、ポスター(人権ポスター、交通安全ポスター、ヒロシマ・アピールズ、電車内広告、映画のポスター、SDGsポスターなど)、ご当地キャラクター(すだちくん、せんとくん、くまもんなど)、ネームスタンプ、ブックカバー、ポストカードなど】【工業デザイン:パッケージ、文房具、模様、食器、フォトフレーム、電車、自転車、車、バス、靴、企業のユニフォーム、舞台衣装、ラッピング、椅子など】【環境デザイン:インテリアなど】</p>	
キーワード		目的や機能との調和のとれた洗練された美しさ より主体的に見方や感じ方を深める	作者の心情や表現の意図と創造的な工夫 自分の価値意識をもって批評する
題材例		<p>『機能と美しさを兼ね備えたデザイン～椅子のデザインについて～』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなデザインの椅子を見て、それぞれの特徴を探し、機能と美しさについて理解しよう。 ・使用目的に合ったデザインについて気付いたことをまとめ、他者と意見を交換しよう。  	<p>『身近なピクトグラムを探そう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムの特徴や役割について学ぼう。 ・身近にあるピクトグラムを探して、気付いたことを語り合ったり、説明し合ったりしよう。 

中学校 「B鑑賞」(1)イ(ア) 美術の働きや美術文化(生活や社会を美しく豊かにする美術の働き)

		第1学年
目標及び内容	「鑑賞」	<p>(1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。</p> <p>イ 生活の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。</p>
「共通事項」	「知識」	<p>(1) 「A表現」および「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>
出会わせたい作品など		<p>○身の回りにある自然物や人工物の造形的な美しさ</p> <p>【自然の中の形、造形美の要素、遠近法、色や光の特徴 金城次郎「線彫双魚文皿」、カイ・フランク「磁器のカップ」、鹿児島睦「花柄の小皿」 佐々木一宏「赤ちゃんのためのおもちゃ」、皆川明「布地の文様：candle」、野老朝雄「NALTIE GLGL」 鈴木マサル「富山もよう「mizu」、小黒三郎「5匹の仔ヒツジ」、】</p> <hr/> <p>○生活を美しく豊かにする美術の働き</p> <p>【伝統工芸、伝統文様、伝統の色、生活と工芸、工業デザイン、環境デザイン、視覚伝達デザイン】</p>
キーワード		<p>生活を美しく豊かにする 社会とのかかわり 身の回りにある自然物や人工物</p>
題材例		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>『四季をあらわす 伝統色』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭りや七夕などの飾りから日本の伝統色彩や配色などのよさを感じ取ろう。 ・日本の風土や四季の草花・植物などから生み出された季節を感じる日本独自の色彩美を味わおう。 </div> <div style="text-align: center;">  <p>『生活の中の伝統美』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畳や床の間、欄間、ふすまなど日本の伝統的な建築様式や部屋のしつらえなどを味わおう。 ・職人が継承してきた伝統の技などについて話し合ってみよう。 </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">   </div>

中学校 「B鑑賞」(1)イ(ア) 美術の働きや美術文化(生活や社会を美しく豊かにする美術の働き)

		第2学年及び第3学年
目標及び内容	「鑑賞」	<p>(1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。</p> <p>イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p>
(共通事項)	「知識」	<p>(1) 「A表現」および「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>
出会わせたい作品など		<p>○身近な環境の中に見られる造形的な美しさ</p> <p>【公園、庭園、建造物、街並み、都市デザインなど】</p> <p>岡本太郎「太陽の塔」、イサム・ノグチ「オクテトラ」「モエレ沼公園」、隈研吾「雲の上のギャラリー」</p> <p>安藤忠雄「光の教会」「地中美術館」、ル・コルビュジエ「国立西洋美術館」、伴茂「紙の大聖堂」</p> <p>ジャン・ティンゲリー／ニキ・ド・サンファール「ストラヴィンスキーの噴水」</p> <p>アントニ・ガウディ「サグラダ・ファミリア」「グエル公園」、平等院鳳凰堂、桂離宮、ベルサイユ宮殿</p> <p>○安らぎや自然との共生</p> <p>【動植物、自然物、四季、自然現象、風景など】</p> <p>白川郷の合掌造り、クリスト「囲まれた島々」、ヨーガン・レール「浜辺のごみでつくったランプの展示」</p> <p>藤浩志「ToysParadise」、岸本真之「つぎつぎんつぎ」、エル・アナツイ「大地の皮膚」</p> <p>インゴ・ギュンター「ワールドプロセッサー」、青木野枝「ふりそそぐもの」</p> <p>teamLab「文化の森に憑依する滝」、アレクサンダー・カルダー「ファブニール・ドラゴンII」</p>
キーワード		<p>生活や社会を美しく豊かにする 安らぎや自然との共生 社会とのかかわり</p> <p>身近な環境の中に見られる造形的な美しさ</p>
題材例		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>『自然と調和する環境デザイン』～月見が丘海浜公園～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然との調和や人々が便利で快適に過ごせるデザインについて味わおう。 ・デザインの目的や機能、対象者等について考えてみよう。 </div> <div style="width: 45%;">  <p>『環境とともに生きる彫刻』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人や自然との関わりを活かした造形表現のよさや工夫点について考えよう。 ・素材や作者の意図、自分が感じたことなどについて話し合おう。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>9 建築と都市環境の発展を促す</p>  </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>11 都市設計や都市環境の発展を促す</p>  </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>13 自然空間に具体的な学びを</p>  </div> </div>

中学校 「B鑑賞」(1)イ(イ) 美術の働きや美術文化(美術文化)

		第1学年
目標及び内容	(「思考力・判断力・表現力等」)	<p>(1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。</p> <p>イ 生活の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(イ) 身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。</p>
	(「共通事項」)	<p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>
出会わせたい作品		<p>○日本及び諸外国の文化遺産</p> <p>【例(日本)：法隆寺五重塔,中尊寺金色堂,日光東照宮陽明門,富岡製糸場内部,国立西洋美術館本館,白川郷合掌造りの建物,龍安寺石庭,東大寺大仏殿,熊野本宮大社旧社地 大斎原の鳥居,姫路城の大天守と小天守,石見銀山内部,原爆ドーム外観,満潮時の厳島神社,大浦天主堂,旧鹿児島紡績所技師館,国営沖縄記念公園(首里城公園)】</p> <p>【例(諸外国)：サグラダ・ファミリア,自由の女神,タージ・マハル,ケルン大聖堂,ヴェルサイユ宮殿,ピラミッド,万里の長城,モンサンミッシェル】</p> <p>○日本の伝統文化</p> <p>【伝統行事：京都祇園祭の山鉦・博多祇園の山笠などの山車, 法被】</p> <p>【伝統文化：軒, 瓦, 塗り壁, 襖, 障子, 違い棚, 畳, 縁側, 土間, 床の間】</p> <p>【伝統工芸：染色(のれん, 着物), 和紙・竹細工(扇子, 団扇, 箆), 風呂敷, 掛け軸, ガラス・切り子細工・陶器(抹茶茶碗, 徳利, お猪口), 木彫・漆器・螺鈿細工(硯箱, 箸, おぼん, 文箱)】</p> <p>○四国の文化遺産</p> <p>【徳島：田中家住宅, 一宮神社本殿, 丈六寺観音堂, 宇志比古神社, 切幡寺大塔, 箸蔵時】 【香川：明王寺釈迦堂, 志度寺, 長尾寺経幢, 細川家住宅, 国分寺本堂, 高松城, 旧金比羅大芝居, 金刀比羅宮旭社, 豊稔池堰堤, 香川県庁舎旧本館及び東館】 【愛媛：伊佐爾波神社, 浄土寺本堂, 道後温泉本館, 萬翠荘, 大山祇神社拝殿, 内子座, 大洲城, 宇和島城天守】 【高知：不破八幡宮本殿, 鳴無神社, 朝倉神社本殿, 竹林寺, 国分寺金堂, 豊楽寺薬師堂, 金林寺薬師堂】</p> <p>○四国の伝統工芸品等</p> <p>【徳島：阿波藍, 大谷焼(陶芸), 四国八十八カ所(彫刻・建築等), 阿波踊り(舞台・衣装), 阿波踊り竹人形, 阿波和紙, 阿波人形浄瑠璃, 遊山箱】 【香川：香川漆器, 丸亀うちわ, 組手障子, 讃岐一刀彫り, 讃岐提灯, 張小虎, 讃岐かがり手まり】 【愛媛：砥部焼, 大洲和紙, 西条だんじり彫刻, 伊予かすり, 桜井漆器, 菊間瓦, 姫だるま, 宇和島牛鬼張り子, 桐下駄, 水引, 高張提灯, 棕櫚細工, 二六焼】 【高知：土佐和紙, 土佐打刃物, 土佐硯, 土佐凧, まんじゅう笠, 安芸國鬼瓦, 内原野焼, 尾戸焼・能楽山焼, 土佐古代漆】</p>
キーワード		造形的なよさや美しさを感じ取る 見方・感じ方を広げる 伝統や文化への興味
題材例		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p>『受け継がれてきた伝統と技～焼き物～』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材や風合い, 手触りの違いを感じてみよう。 ・代々受け継がれてきた, 美しさを使いやすさの工夫を見つけよう。 </div> <div style="width: 30%;">  <p>『世界最古の木造建築～法隆寺～』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築様式や外観・内装の工夫について知ろう。 ・建物や装飾の美しさとともに当時の人の思いや願いについて考えてみよう </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>4 資料の調べ方 みんなに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>8 調べがらみ 図表作り</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>4 調べがらみ みんなに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 調べがらみ みんなに</p>  </div> </div>

中学校 「B鑑賞」(1)イ(イ) 美術の働きや美術文化(美術文化)

		第2学年及び第3学年
目標及び内容	「思考力・判断力・表現力等」	<p>(1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。</p> <p>イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(イ) 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p>
	「共通事項」	<p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>
出会わせたい作品		<p>○日本及び諸外国の文化・作品</p> <p>【日本：寺院建築、高松塚古墳壁画西壁女子群像、飛鳥寺釈迦如来像、法隆寺金堂釈迦三尊像、広隆寺弥勒菩薩半跏思惟像、不動明王坐像、阿弥陀如来坐像、阿修羅像、金剛力士像、東大寺盧舎那仏像、伊藤若冲「樹下雄鶏図」、葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖波裏」「富嶽三十六景 山下白雨」「北斎漫画」、喜多川歌麿「松葉楼装い実を通す風情」、東洲斎写楽「三代目大谷鬼次の奴江戸兵衛」、歌川広重「東海道五拾三次 庄野」「名所江戸百景 神田明神曙之景」、鳥獣人物戯画、雪舟「秋冬山水図】</p> <p>【諸外国：弥勒菩薩交脚像(ガンダーラ地方)、菩薩像(中国)、菩薩半跏思惟像(朝鮮半島)、螺鈿紫檀五絃琵琶、ギュースターヴ・クールベ「波」、フィンセント・ファン・ゴッホ「星月夜」「タンギー爺さんの肖像」「ひまわり」、エドガー・ドガ「ルーヴル美術館絵画室のメアリー・カサット」、クロード・モネ「陽を浴びるポプラ並木】</p> <p>○日本の伝統文化</p> <p>【襖絵：狩野山楽「牡丹図襖絵」、狩野山雪「老梅図襖」、長沢芦雪「虎図】</p> <p>【屏風：狩野永徳「洛中洛外図」「唐獅子図」、長谷川等伯「松林図屏風」、狩野秀頼「観楓図」、俵屋宗達「風神雷神図」、尾形光琳「燕子花図屏風」「紅白梅図」、俵屋宗達「風神雷神図屏風】</p> <p>【生け花、龍安寺などの石庭、扇子】</p> <p>【民族文化(アイヌ)：マキリ、二風谷イタ、二風谷アットウシ、トンコリ、ポンニカプンベ、モレウ、】</p> <p>【民族文化(琉球)：紅型、宮古上布、喜如嘉の芭蕉布、久米島紬、壺屋焼、琉球漆器、三線】</p> <p>○伝統文様</p> <p>【唐草文様(諸外国)：アカンサス文様、ロータス文様、葡萄文様】</p> <p>【和柄：市松模様、風車、三崩し、三筋格子、麻の葉、鮫小紋、菊菱、花菱、矢絣、七宝、鱗模様、亀甲、胡麻、青海波、工字繫ぎ、檜垣、巴、網目紋、花刺し、忍冬唐草文様】</p>
キーワード		造形的なよさや美しさを感じ取る 見方・感じ方を広げる 伝統や文化への愛情 国際理解 継承と創造
題材例		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">   </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>『仏像の魅力』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏像のよさや美しさを感じ取るとともに、仏師が表現しようとしたことを考えよう ・仏像それぞれのポーズや服装・表情から特徴について考えよう </div> <div style="width: 30%;">   </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>4 賢い眼、賢い心 みんなに</p>  </div> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>3 すべての人に 健康と福祉を</p>  </div> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>10 人や国が平等 をたたく</p>  </div> </div>

高等学校 美術科学習内容の系統表

〔高等学校部会テーマ〕

「造形的な見方・考え方を育て、
未来につなげる美術教育」

○高等学校のテーマと学習内容系統性との関連

生涯を豊かに彩るためには、子供の発達段階に応じた専門的な造形学習を継続的に行う必要があり、生徒一人一人が美的体験を通して芸術を愛好する心情を育てることが大切である。

・表現と鑑賞の活動を通して生徒の主体的・対話的な造形活動を促し、指導と評価の一体化を図った授業改善をする。

・これまでの学習経験に加え、最新のテクノロジー等も効果的に活用し、より美術の楽しさや創造の喜びが味わえるよう系統性を考慮した指導計画を作成する。

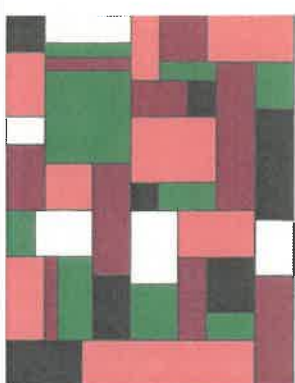




・美術の創造活動に関わる、将来的に必要な能力を育成するとともに、地域の文化や伝統産業などつながりが深い題材を開発し、指導方法を工夫する。

高校においては、以上のことを指導上のテーマとし、「未来につなげる」ことができる美術教育に取り組んでいきたいと考えている。

高等学校 美術 I 「絵画・彫刻」

		美術 I
目標及び内容	「思考力・判断力・表現力等」	<p>絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想</p> <p>(ア) 自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成すること。</p> <p>(イ) 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ること。</p>
	「技能」	<p>絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能</p> <p>(ア) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。</p> <p>(イ) 表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すこと。</p>
共通事項	「知識」	<p>「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 造形の要素の働きを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解すること。</p>
表現方法	(知識)	<p>○水彩・アクリル絵の具の特性、絵の具の溶き方や水との配合、下地の効果、重色・混色（絵画）</p> <p>○形や量感、質感、動勢などの造形的な要素、彫造と塑造の特性を生かした立体的表現方法（彫刻）</p>
	(思考・判断・表現等)	<p>○『自画像—自己を見つめて—』（絵画）</p> <p>「テーマ」の生成を意識した構図や表情</p> <p>○塑造による『表情のある手』／彫造による『にぼしの彫刻』（彫刻）</p> <p>感情や「テーマ」が伝わるような手の表情、手の構造／全体のバランスや骨格、形体の歪みや量感・質感</p>
	(技能)	<p>○アクリル絵の具の扱い方と技法、筆・パレット等の使い方、重色と混色の使い方（絵画）</p> <p>○量感の捉え方、芯材の成形、麻ひもの巻き方、土粘土の特性と扱い方、へらや彫刻刀等の使い方（彫刻）</p> <p>○彫刻刀やデザインナイフの使用法、アクリル絵の具の技法（彫刻）</p>
表現材料		<p>ホワイトワトソン紙イラストレーションボード（絵画）</p> <p>土粘土（珪石質粘土）、針金、麻ひも等／パルサ材、アクリル絵の具（彫刻）</p>
キーワード		<p>・自己を見つめ主題の自己表現（絵画）</p> <p>・形体の創造的な立体表現（彫刻）</p>
題材例		<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>『自画像—自己を見つめて—』 〈材料〉イラストレーションボード 〈方法〉アクリル画・淡彩 〈用具〉鉛筆・アクリル絵の具</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>『表情のある手』 〈材料〉土粘土（珪石質粘土） 〈方法〉塑造 〈用具〉針金、麻ひも、へら</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>『にぼしの彫刻』 〈材料〉パルサ材 〈方法〉彫造・着彩 〈用具〉彫刻刀等</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px; text-align: right;">  </div>

高等学校 美術 I 「デザイン」

		美術 I
目標及び内容	「思考力・判断力・表現力等」	<p>デザインに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 目的や機能などを考えた発想や構想 (ア) 目的や条件, 美しさなどを考え, 主題を生成すること。 (イ) デザインの機能や効果, 表現形式の特性などについて考え, 創造的な表現の構想を練ること。</p>
	「技能」	<p>デザインに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 発想や構想をしたことを基に, 創造的に表す技能 (ア) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。 (イ) 表現方法を創意工夫し, 目的や計画を基に創造的に表すこと。</p>
共通事項	「知識」	<p>「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 造形の要素の働きを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に, 全体のイメージや作風, 様式などで捉えることを理解すること。</p>
表現方法		<p>(知識) 色の三原色, 色料と色光 (CMYとRGB), 加色混法, 減色混法, 色の3三属性, 色立体, 補色・類似色の関係, 暖色・寒色, 色の対比 (明度対比, 彩度対比, 色相対比), マンセル表色系, トーン配色など</p> <p>(思考・判断・表現等) 変化と統一, バランス, リズム, 強調, ハーモニー, シンメトリー, 錯覚, レタリング, フォント書体, スペーシングなど</p> <p>(方法・技法) アイデアスケッチ, デザイン化, レタリング, ポスター, カード, パッケージ等効果 (ムーブメント, エレメント), 絞り染め, ろうけつ染めなど</p>
表現材料		画用紙, ポール紙, 包装紙, 新聞紙, ケント紙, パネル, カラーシート, カuttingシート, 鉛筆, 色鉛筆, インク, 筆, ペン, 竹ペン, 水彩絵の具, ポスターカラー, アクリル絵の具, スチロール, クレイ・紙粘土, 布, 接着剤など
キーワード		<p>・情報を分かりやすく伝える・機能と美しさの調和・知的, 論理的に考えた主題の生成</p> <p>・創造的な表現の構想・伝える人や使う人の気持や行為を考えた表現方法の工夫</p>
題材例		<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>『平面構成』 〈材料〉アクリルガッシュ・工作用紙等 〈方法〉構成美の要素 〈用具〉アクリルガッシュの扱い方</p>  </div> <div style="width: 50%;">  <p>『ピクトグラム』 〈材料〉色鉛筆・PC・ステッカーシート等 〈方法〉情報のデザイン化 〈用具〉様々な画材の扱い方</p>  </div> <div style="width: 50%;">  <p>『ポスター制作』 〈材料〉各種画材・画用紙 〈方法〉発想や構想の視覚化 〈用具〉様々な画材の扱い方</p>  </div> <div style="width: 50%;">  <p>『キャラクターデザイン』 〈材料〉軽量粘土・絵具・缶バッジ等 〈方法〉発想や構想の視覚化・立体化 〈用具〉様々な画材の扱い方</p>  </div> </div>

高等学校美術 I 「映像メディア」

		美術 I
目標及び内容	「思考力・判断力・表現力等」	<p>映像メディア表現に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想</p> <p>(ア) 感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。</p> <p>(イ) 色光や視点、動きなどの映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練ること。</p>
	「技能」	<p>映像メディア表現に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 発想や構想したことを基に、創造的に表す技能</p> <p>(ア) 意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かすこと。</p> <p>(イ) 表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表すこと。</p>
共通事項	「知識」	<p>「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 造形の要素の働きを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解すること。</p>
表現方法		<p>(知識) 色光 (RGB)、加法混色、デジタルとアナログ、画像のファイル形式、ビットマップ画像とベクトル画像、フォント (書体) について、著作権についてなど</p> <p>(思考・判断・表現) 色光や視点、動きなどの映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練り表現する。</p> <p>(方法・技法) 動画撮影、動画の編集、テロップ編集、静止画撮影、画像加工、画像の合成、クリエイティブアニメ、コマ撮りアニメ、モーショングラフィック、ビデオインスタレーションなど</p>
表現材料		ビデオカメラ、デジタルカメラ、編集用PC、編集・描画ソフト (Adobe premiere pro, Adobe illustrator等) トレーシングペーパー、鉛筆、絵コンテ、ペンタブレット、プロジェクター、イメージスキャナーなど
キーワード		<ul style="list-style-type: none"> ・情報を分かりやすく伝達する・機能と美しさの調和・知的、論理的に考えた主題の生成 ・創造的な表現の構想・伝える人や使う人の気持や行為を考えた表現方法の工夫
題材例		<p>『題材名』映像制作～すだちくりいむそうだ～</p> <p>〈材料〉編集用PC、編集・描画ソフト (Adobe premiere pro, Adobe illustrator等)</p> <p>〈方法〉原画作成</p> <p>〈用具〉ペンタブレット、絵コンテ</p>  <p>『題材名』映像制作～夢に向かって～</p> <p>〈材料〉・・・編集用PC、編集・描画ソフト (Adobe premiere pro, Adobe illustrator等)</p> <p>〈方法〉・・・実写映像撮影</p> <p>〈用具〉・・・絵コンテ、ビデオカメラ、デジタルカメラ</p> 

高等学校美術 | 「鑑賞」

		美術 I
目標及び内容	「	<p>鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞 (ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。 (イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。 (ウ) 映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。</p> <p>イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞 (ア) 環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、自然と美術との関わり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めること。 (イ) 日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じ取り、日本の美術の歴史や表現の特質、それぞれの国の美術文化について考え、見方や感じ方を深めること。</p>
	」	
共通事項	「	<p>「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 造形の要素の働きを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解すること。</p>
鑑賞方法		<p>①アントニ・ガウディについて、芸術性が高く創造力豊かな建築作品等があることを知り、特に未完の世界遺産として知られるサグラダ・ファミリア大聖堂について、今もなお完成目指し建設が続いていることを知る。</p> <p>②多様な視点から自らテーマ設定を行い、ガウディレポートをまとめるため、テーマに沿った情報収集を行う。</p> <p>③設定したテーマについて明確に相手に伝えることができるよう、ワークシートのレイアウト方法について知る。</p> <p>④写真やテキストをレイアウトし、まとめたワークシートをグループごとに発表し、情報共有をおこなう。</p> <p>⑤アントニ・ガウディについてまとめたことを振り返る。視点を持って鑑賞し、他者へ伝えていくことの重要性について再認識する。</p>
教材		教科書 タブレット端末 ワークシート(メタモジクラスルーム 配布テキスト) インターネット環境 図書室参考書 籍・配布資料など
キーワード		<p>・作者の心情や意図と創造的な表現工夫への理解</p> <p>・社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞</p>
題材例		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p style="text-align: center;">ガウディについて～視点を持って鑑賞レポートをまとめよう～ (分類) レポートメタモジクラス、2枚綴り(モノ) 12月14日(水) ①テーマ(キャッチフレーズ) ガウディの生涯 ②内容(調べごと 写真などの取り付けもOK)</p> <p>① 1647年のアネージュ ガウディは1878年、カタルーニャ地方のグエル地区に生まれる。幼少期は、家族と共にサグラダ・ファミリアの建設現場で過ごす。1895年に、17歳の若さで建築士の資格を得る。以後、建築家としての活動を開始する。1928年に、80歳の時に死去する。</p> <p>② 建築家としての活動 ガウディは、1895年に、17歳の若さで建築士の資格を得る。以後、建築家としての活動を開始する。1928年に、80歳の時に死去する。</p> <p>③ サグラダ・ファミリアの建設 ガウディは、1914年に、46歳の時に、サグラダ・ファミリアの建設を開始する。この建築は、未完のまま、現在も建設が続いている。</p> <p>④ ギョーメスの建設 ガウディは、1910年に、32歳の時に、ギョーメスの建設を開始する。この建築は、未完のまま、現在も建設が続いている。</p> <p>⑤ 建築家としての活動 ガウディは、1914年に、46歳の時に、サグラダ・ファミリアの建設を開始する。この建築は、未完のまま、現在も建設が続いている。</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p style="text-align: center;">ガウディについて～視点を持って鑑賞レポートをまとめよう～ (分類) レポートメタモジクラス、2枚綴り(モノ) 12月14日(水) ①テーマ(キャッチフレーズ) ガウディの歴史と現代へのメッセージ ②内容(調べごと 写真などの取り付けもOK)</p> <p>① 建築家としての活動 ガウディは、1914年に、46歳の時に、サグラダ・ファミリアの建設を開始する。この建築は、未完のまま、現在も建設が続いている。</p> <p>② サグラダ・ファミリアの建設 ガウディは、1914年に、46歳の時に、サグラダ・ファミリアの建設を開始する。この建築は、未完のまま、現在も建設が続いている。</p> <p>③ ギョーメスの建設 ガウディは、1910年に、32歳の時に、ギョーメスの建設を開始する。この建築は、未完のまま、現在も建設が続いている。</p> <p>④ 建築家としての活動 ガウディは、1914年に、46歳の時に、サグラダ・ファミリアの建設を開始する。この建築は、未完のまま、現在も建設が続いている。</p> <p>⑤ 建築家としての活動 ガウディは、1914年に、46歳の時に、サグラダ・ファミリアの建設を開始する。この建築は、未完のまま、現在も建設が続いている。</p> </div> </div> <p>題材名『アントニ・ガウディの建築について、様々な視点からレポートしよう。』 <1> アントニ・ガウディの建築物について、様々な視点から学び取る。 彼の多様な作品を提示し、各自が独自の視点でガウディレポートをまとめるよう提案する。 <2> 配布資料や図書室書籍、インターネット資料によりガウディの建築について調べ、各自のタブレット端末でワークシートにてまとめる。 (※上記生徒作成テキスト例)</p>

高等学校工芸Ⅰ「身近な生活と工芸」「社会と工芸」

		工芸Ⅰ
目 標 及 び 内 容	「 思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力 等 」	<p>身近な生活と工芸に関する次の事項を身につけることができるよう指導する。 ア 身近な生活の視点に立った発想や構想 (ア) 自然や素材, 自己の思いなどから心豊かな発想をすること。 (イ) 用途と美しさとの調和を考え, 日本の伝統的な表現のよさなどを生かした制作の構想を練ること。</p> <p>社会と工芸に関する次の事項を身につけることができるよう指導する。 ア 社会的な視点に立った発想や構想 (ア) 使う人の願いや心情, 生活環境などから心豊かな発想をすること。 (イ) 使用する人や場などに求められる機能と美しさとの調和を考え, 制作の構想を練ること。</p>
	「 技 能 」	<p>身近な生活と工芸に関する次の事項を身につけることができるよう指導する。 イ 発想や構想をしたことを基に, 創造的に表す技能 (ア) 制作方法を踏まえ, 意図に応じて材料や用具を生かすこと。 (イ) 手順や技法などを吟味し, 創造的に表すこと。</p> <p>社会と工芸に関する次の事項を身につけることができるよう指導する。 イ 発想や構想をしたことを基に, 創造的に表す技能 (ア) 制作方法を踏まえ, 意図に応じて材料や用具を生かすこと。 (イ) 手順や技法などを吟味し, 創造的に表すこと。</p>
共 通 事 項	「 知 識 」	<p>「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 造形の要素の働きを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に, 全体のイメージや作風, 様式などで捉えることを理解すること。</p>
表 現 方 法		<p>(知識) 形や色、質感、量感、重心やバランス、動勢など 土偶の歴史 (日本最古の彫塑・縄文時代の人々の願いや思い) 焼き物の分類・歴史 徳島の伝統工芸大谷焼の歴史と役割、人々の生活との関わり 基本的な成形方法 重要な造形要素テクスチャー</p> <p>(思考・判断・表現等) 素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練り表現する。</p> <p>(技能) 菊練りの方法、手廻しろくろの使い方、成形(ひもづくり) 素材の特性を理解して表す。 こて・へら・弓・なめし皮等道具の扱い方、組み立て方(どべの使い方) テクスチャー・デザインの方法(クレイガン・彫り・エンボスなど) 仕上げの方法(ポンス・サンドペーパー・乾燥・素焼・施釉・本焼) 施釉・焼成は窯元へ依頼</p>
表 現 材 料		大谷焼の粘土、黄いらぼ釉
キ ー ワ ー ド		<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県の伝統工芸大谷焼に触れる ・身近な素材と立体表現 ・彫塑・陶芸・伝統工芸
題 材 例		<p>『大谷焼で土偶を作ろう～私の進路の願いを込めて～』 〈材料〉大谷焼の粘土、黄いらぼ釉 〈方法〉手びねり(ひもづくり) 〈用具〉手廻しろくろ、粘土板、竹串、木ごて、木べら、弓、なめし皮 ポンス、ピアノ線、クレイガン</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>4 質の高い教育を みんなに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも 経済成長も</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> </div>